滿洲日報

本紙代價	
一ヶ月前金	四十錢
一ヶ年分	四圓八十錢
半ヶ年分	二圓四十錢
郵税無料	

廣告料	
五號活字十九字詰	一行二十錢
四號活字十九字詰	一行三十錢
二號活字九字詰	一行四十錢

滿洲營口中盛街（電話二九番） 滿洲日報社

特別廣告

廣告

刻間軍政署電話局欲添募清國人能任交換電話之人有願充斯選者限年在十六歲以上至廿五歲爲度須有高等小學畢業程度且視聽力均須敏捷方不至貽誤事機如有合意之人請自書寫志願書及履歴冊携帶赴局以便試驗定募可也此佈

明治三十九年八月

營口軍政署電話局示

日本郵船株式會社 瀛船出帆廣告

●竹島丸 八月十日午前出帆 大沽、芝罘、長崎、門司、神戸行

大連出帆

●横濱丸八月十一日午後二時出帆

乘船切符發賣は出帆前三時間マデ 未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ

營口代理店 旗昌洋行（電話二六番）

大阪商船株式會社 汽船營口出帆廣告

●盛航丸 八月八日 入港

東營口公園地横（電話二十三番）

代理店 ブクシユ兄弟商會 遠來洋行

瀛船出帆廣告

●摩耶山丸 五日正午門司神戸行

●萬成源丸 八月六日天津行

松茂洋行船舶部 海岸東税關西 電話（五二）（五七）

朝日ビール、スペシャルライト

廉價販賣仕候

滿洲一手販賣元

松茂洋行商品部（電話五二番）

▲資本金貳千四百萬圓

▲積立金一千壹百五拾萬圓

横濱正金銀行牛莊支店

本支店出張所

横濱 神戸 東京 長崎 大阪 倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇 孟買 香港 上海 漢口 天津 北京 大連 旅順 奉天 遼陽 芝罘 鐵嶺 安東縣

（電話十番支配人室二百八番事務室）

正隆銀行

軍政署認可

營業項目

一定期預金（長期存款） 三ケ月 五分 六ケ月按年五分五厘 一ケ年 六分

一當座預金（暫存款） 按年 四分五厘 日歩 一錢二厘三毛

一小口當座預金（零碎暫存款） 按年五分一厘 日歩一錢四厘

一送金爲換取組先（匯兌） 東京、横濱、大阪、神戸、長崎、上海、天津の横濱正金銀行本支店

一貸附金（放利）

一般財産並に土地建物の管理を引受くること

不動産抵當貸附金の委託を引受くること

一附帶ノ業務

本行營業中の支拂は日本金貨は勿論墨銀小銀貨に至る迄精々御都合宜敷樣御相働候間近々の内過爐銀の取引をも開始可致候

●ぬ號勸業貯蓄債券（五圓券）發賣

營口西北街第二百三十號（日本人會西隣）

支配人 深水十八（電話二百十番）

宅洋行

啓者敝行專賣綿紗粗布緞子絨布手巾花巾洋胰火柴鐘表等類價値格外克己並且貨眞價實以致敝行名譽日增茲蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸業以便商旅行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽款待周詳倘可面商一切事宜幸中外士商惠其誠實無欺惠臨賜顧曷勝榮幸之至

總司理人 田中穎之助謹白

開設老爺閣街同盛德院内 電話（店一八三番 住所五五番）

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉絲布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並匯兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘機房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是有

總司理人 葉亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油榨生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊連瀛船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之

正理事 潘玉田 副理事 金德魁

設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號東管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞

本主人敬啓

仁裕號

係裝運各幇火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此僅

營口西大廟街路北警乙第十三號

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞子洋闌絨等貨來埠發售顔色鮮明俱照中國十布家綿自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議

北街東 順（電話九十五番）

西義順棧内 西 街（電話九十八番）

志岐組

本組開設營口綏定門外今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價値格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組格外名譽其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸

本主人謹白

三井

電話 第六十六號 第九十一號

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歴所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部經理

今回倉庫所在地（靑堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候

（電話百二十八號）

○明治火險公司

本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售 日本白米

○東京水險公司

啓者本公司開設在三井洋行内已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

三井洋行啓

啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨匯集資本浩繁有保險以維持之可以有特無恐法至良意至美也小行經理日本明治火險公司已歴多年幸蒙中外所信用前有郭漁笙王鹿芹朱斐章先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦諸貴商所樂聞乎如蒙賜顧請逕至大德亨内面議可也

營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於天數咎惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即殷實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉 僕等承三井洋行謬愛囑爲代理日本明治火險公司保險各事 僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克己諸公賜顧請駕臨大德亨内面議不誤

王鹿芹 朱斐章 郭漁笙 仝啓

洋行

電話 第六十六号 第九十一号

●印判彫刻 ●ゴム印 ●活版名刺 ●各色印肉インキ附屬品一式

右位の御引立に依り日に月に隆盛に趣き候段奉謝候今回技術精好なる職工數名到着候に付分店設立と同時に一層勤勉を以て期日正確價格低廉貴需に應ず可く候間多少に不拘御下命被下度候 御報知次第店員參上仕候

營口永世街三十七号 刻字舗 尾崎洋行

奉天小西關大街二七八号南側 尾崎洋行分店

東省巡航公司業務廣告

本公司は牛家屯東税關西税關河北間に小蒸瀛船ホチン號を往復せしめ牛家屯河北停車場發着列車の連絡を取り旅客の迎送をなす

本公司は牛家屯營口河北間貨物の運搬及曳船の依頼に應ず 御用の節は電話二百三十六番へ御一報煩度候

本公司乘船場は牛家屯停車場前棧橋東税關棧橋西税關東部にあり

切符發賣所は各乘船場及船中にて發賣す

賃銀

自 ＼ 至	河北	西税關	東税關
牛家屯	二十錢	三十錢	二十錢
東税關	二十錢	二十錢	
西税關	十錢		

數回切符は特に割引可致候

列車連絡時間表（日本時間）

東税關午前五時發 牛家屯六時三十五分發列車に連絡

仝午前六時發 河北七時發列車に連絡す

東税關午後七時四十分發 牛家屯九時三十五分の列車に連絡

牛家屯午前九時四十分發 牛家屯九時十分着の旅客を迎ふ

牛家屯午後八時發 營口牛家屯間通勤諸士の營口歸りの便を計る

河北午後六時發 河北五時四十分の旅客を迎ふ

東省巡航公司 謹白

營口元神廟街第五十五號 電話番號二百三十六番

洋鐵鋼

麥粉、白糖、白米、玻璃板、亞鉛板、鐵線、洋釘類、建築土工用具及船具類 其他諸機械ノ製作修繕

安東縣市場通七丁目 合資會社 秋田商會支店

安東縣東大街 合資會社 秋田商會支店

牙大夫學士兒島醫院

DENTIST. Dr. KOJIMA.

●語日齒全壽長●營口元神廟街

告白

啓者本院主從來於森醫院治療從事則近時稍感狹隘因今別卜居開院新式諸器械完備無遺憾專足於救治牙疼施術巧窩金銀充塡落齒補足妙技來有齒牙疾患者希咀嚼快歡欲皓齒金光燦爛美者速來知神秘妙

執事

SP 糸平公司

本舗在大阪開業以來一百餘年今特於本埠開設支店所有發賣物品均美價廉如蒙中外士商賜顧請至本店購買可也今將自製布類列下東洋各色絨布毯子 各式被面 色布疋各種綿布 其他一切織物概行發賣並特約販賣 正日光 皮酒價及各樣雜貨尤廉減特此廣告

營口元神廟街南邊路西（電話番九十二号）

日ビール特約大阪賣

鐵道 遼河 裕和盛運輸局

（電話八十一号）

在東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本号向在日本長崎開設數十年開店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船車又承辦東淸鐵道各車站代客裝運貨物均設分局格外周到不悞十顧

總司理主人 周鶴雲 謹

運輸部主任 高瀨麟太郎 啓

徽州 怡昌祥茶號

本號專在徽州黃山採辦三十六峰雲霧仙品名茶色香味與衆不同倘工棟焙重價徽郡珠蘭不惜資本以圖久遠凡貴商大寶號賜顧者請認明本号黃山圖記庶不致誤

怡昌祥主人謹白寓營口恆利德

日本官造紙煙專售告白

本號現開設在大連、安東縣、營口、遼陽、奉天、鐵嶺、等處專售日本官造紙煙 朝日（紅旭牌）大和（雲花牌）敷島（蓬島牌）媽媽咧（軍旗牌）逢仙來福（雙仙鶴牌）利利（百合花牌）捷利（櫻花牌）斯達（星象牌）哥耳天巴德（蝙蝠牌）等九種及煙絲各樣

東營口西北街（舊代代木公司）

日本官煙營口專賣處

丸重轉運行

啓者 本行前經關東總督之特准開辦東淸鐵道轉運行專代各裝運貨物安全速達價亦格外公道以致名聲日增今又各車站設均分莊運輸決無誤如蒙貴商光顧請面是議荷

營口西北街（電話八十號）

旣設分局 牛家屯車站（電話四十六號） 遼陽、奉天、昌圖各車站

關東玻璃公司

本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉光顧者請至 營口永世街

第五號門牌便是

靑堆子 菅野玻璃廠

玻璃器什遠運必有破壞從價不廉茲本主人開辦玻璃廠聘許多好手藝之人自造各樣洋燈罩子瓶碟等凡所有玻璃器什類一概發賣價値公道主顧不誤官商幸給顧光特告白

本主人謹白

志岐組木料棧 材料出售

啓者本棧開設鎭口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價値格外從廉克己凡中外士商光面議願請到本棧

●銃砲火藥販賣業

本行蒙官允准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈等件物美價廉需整發售如蒙中外紳商賜顧者請到本行面議可也

官許商 鐵嶺東門大街 秀淸洋行

東京電報

●大連の清國税關（三日發電）我政府は大連に清國税關の設置を許すには北滿洲にも同様の設備を爲し不權衡なき處置に出でんことを講究すべし

●英本國人の誤解（同上）モリソン博士の滿州に關する通信中例へば大連安東縣への輸入税營口の關税收入安東縣なる日本人所有名義の土地等に就て事實相違の點多く爲めに英本國人の誤解を來せるが如し

●後備隊の行賞（同上）後備隊人員二万二千零十五名に對し行賞叙勳發表せられたり

●財政問題協議（同上）二日坂谷、若槻、松尾、高橋等首相と會見財政問題に付協議せり

●露國の元山航路（同上）露國東亞汽船會社は汽船三隻を以て浦塩斯徳元山間の航路を來る十日より開始すべし

奉天電報

●鮫島師團長赴任 鮫島中將鐵嶺へ赴任の途次昨日零時半當地に下車兵站宿舍に一泊本日鐵嶺へ赴く

雜報

●露軍の大醜態 伯林電報に依れば露國士官にして本年一月より六月迄に退職せしめたるもの四百人以上に達したるに對し陸軍大臣は退職の多數は現代の戰役に堪へざるものと認ると公言したるが退職者中にはコロシチエフ、ニコツク中將の如きは退職の上一ケ年牢の禁獄に處せられたり仝中將は昨年十二月滿洲軍に革命起り數週間本國との連絡を失ひたる際露帝は其位を棄て孰れへか逃亡したりとの言を信じ革命派の請求を容れたるよりレチンカンプ將軍は大に憤怒し自巳より位置の高きを顧ることなく自己所帶の兵を以て捕拿し露帝に還送したる上軍法會議の結果本刑に處せられたるものなり

●寛城子問題の論點 寛城子停車場問題に就いては我國の主張を保留し他日實地調査の上鐵道連絡方法を協議する時まで決定を延期することゝなりたるか彼我主張の要點なりといふを聞くにポーツマス條約に於ては長春寛城子旅順口間の鉄道云々とあるにより露國委員は條約中の寛城子停車場東南一里餘に在る寛城子（地名）を意味する者なるか故に此地より正西に當る線路を横斷し其以南を讓渡すべきものなりと主張し又我委員に於ては右條約中の當該條項は清國行政權等に關するものに非ずして單に鐵道問題に關する規定なれば鐵道線路に當る停車場なる寛城子の地名を避けて故らに之を清國普通地名の寛城子と解釋すべき理由なしといふに在るか如し而て將來日本か敷設權を有する吉林鐵道との連絡上露國の主張に從ふときは我國は云ふ迄もなく露國、清國其他の商業國に取りて不利益少からざるを以て之か決定を延期するに至りたる次第なりと云ふ

●關東都督府條例 樞密院の議決を經たると稱せらるゝ關東都督府條例内容なりといふを聞に仝都督は兵馬行政の二大權を掌握し其の下に陸軍部、民政部の二部を置き陸軍部長は仝府參謀長之れを兼ねて關東州及び滿洲各地駐屯の軍政を指揮し民政部長は現民政長官之れを兼ね行政地方警察及び監獄事務を指揮する筈なりと

●地方官俸給令改正 今回改正されたる地方官俸給令により東京、京都、大坂、神奈川、兵庫の各府縣知事は六百圓、同事務官中第一部長は五百圓其他は三百圓、長崎、新潟、愛知、宮城、廣島、福岡、熊本の各縣知事は四百圓、同事務官中第一部長は三百圓其他は二百圓、千葉、静岡、青森、石川、山口、香川、鹿兒島、愛媛の各縣知事は二百圓、同事務官は百圓の加俸を受くることゝ爲れりと

●本砲彈の威力 過般浮上りたる彰利艦ノーウヰークの損傷中最も注目すべきは當時我軍艦より發射したる八吋砲彈が同艦の上甲板に落下して艦底を貫通せるてふ事なりとす斯の如き事例は戰史上殆んど未曾有のことに屬し我砲彈の威力が如何に猛烈なるかを想像するに餘あるべしと海軍當局者は語れり尚同艦の損害程度は目下調査中なるか頗る多大なるべしといふ

●漢口日本居留地 本邦專管居留地經營は着々進行し本年十月長江の減水を待ちて直ちに工事を始むるまでに至りたるが此に甚だ面倒なるは我居留地内に歐人の石油貯藏地及び清人の燐寸製造場か介在する事なれ共何とか協議纏まるべく又居留地域の擴張に就ては目下領事館と道臺との間に交渉を重ねつゝあれは是亦圓滿に運ぶべし又日本居留地工程局は同租界地價を評價して毎一方（一方は我三坪八合）につき江岸は七十兩、中路は五十兩、後路は三十兩なりと發表せり

●遠刈田の金鑛 宮城縣刈田郡遠刈田は古來温泉場として有名なる地方なるが其附近にて金鑛を發見し實地調査の結果其有望なるを確め五六の實業家共同して資本金一千萬圓を投じ盛にこれが採掘に從事することゝなりたる由

●日進開陽の模型 幕府の末年開陽丸を注文し次て佐賀藩に於て日進丸を製造せしもの是れぞ帝國軍艦の嚆矢なるが其製造所たる和蘭國トルレクト市ギツプス兄弟造船場にては此日本海軍國の軍艦が初めて同所に於て建造されたるを深く名譽となし昨年白耳義に於て開會せし萬國博覧會に此二艘の模型を造りて出品せしに非常の注意と喝采とを博せしが閉會に際し之を本邦派遣員農商務參事官に托して本邦政府に寄贈し現品は先頃農商務省に到着したるに付追て東京帝國博物館に獻納することゝなりたる由

●全國の鑛脈實査計畫 農商務省にては利源開發の一端として全國に於ける金、銅を初め各種鑛物の鑛脈を實査せんとの計畫を立てたる由にて其調査費は明年度豫算に計上す可しと聞く

●清國砲艦進水式 川崎造船所に於て建造中の清國砲艦六隻の内昨三隻楚有號は去月十一日午前五時進水式を擧行したりと

●新設領事館 合衆國ロス、アンゼルスには邦人の在住する者年々増加し此程同地在住人總代より領事館設置を請願し來りたるより當局者に於ても其の必要を認め新設領事館の一として來年度豫算に計上するに決定したりと云ふ

●陸軍行賞の發表時期 賞勳局に於ては諸般の行賞調査悉皆整頓したるを以て陸軍の論功行賞は自今毎日一万人宛發表すべし

●大坂商船と外資 大坂商船會社は先頃某商會を介して倫敦の某ジグートとの間に外資一千万圓借入談を開きたる由にて目下上京中の中橋社長は專ら交渉の任に當り居れりといふ

●米國士官の來朝期 米國大使館武官陸軍大尉パーシング氏の稟請により本邦陸軍各兵科に就き研究の爲め來航すべき米國士官は來十月上旬本國出發の筈なりと云へり

●含雪侯の悼詠と小出氏 山縣含雪侯に兒玉藤園子の薨去せし日つく杖の折けれはと『越へはまた里やあらんと頼みてし杖さへをれぬ老の坂道』と悼詠一首を詠みけるが小出粲氏は直ちに左の一首を和して同じく哀悼の意を表したりと

世を思ふ心の暗や如何ならん光にたのめし玉のくだけて

●向軍治處分されん 去廿一日神田青年會館に於て開かれたる社會教育會に於て慶應義塾教師向軍治が教育勅語に對し非議を試み旅順の戰死者を人道を解せざる野蠻人の如く罵倒し明暗の間我國忠孝の美風を破壞せんとしたるは識者の擯斥する所なるが文部省にても棄て置かれず調査の上中學若くは專門學校教師の資格を奪ふことに決したりと

●牛島の馬賊（金州管內馬賊詳報）

▲賊退却後の狀況 賊は二十二日午後九時我警察の勢力増加せるを見て遂に北方に向け退却せるも市民の多くは尚疑惧の念を懷き二十五日に至る三日間は市中殆んど門戸を閉鎖し其狀宛も大會戰後の狀態に於けると異ならざるものあり然るに守備隊の應援巡査、捕等の到着等に依り漸く安堵したるものゝ如し賊は尚ほ前記の掠奪金品に甘んせず更に十萬萬を差出すに非れは被拿去者を返さざるのみならず更に同街を襲ひ掠奪すべしと脅迫しつゝありと謂ふ且つ賊の一部は尚ほ貔子窩の附近を去らさるものゝ如くなるを以て相賀金州支署長の同地出發前日（即二十七日）迄は尚ほ店舗を閉ち取引中止の有樣にてありき

賊は二十二日午後九時海陸二途に分れて退却し其陸隊は更に三、四隊に分れて其の一部は貔子窩市を距る北方十清里の于家屯に宿營せしも、他の一部は二十清里の孫家屯に宿營せる形跡あり又海上に去りたる賊は同夜貔子窩前面の島嶼附近に在りしものゝ如し二十三日正午三艘より成る海賊船は滿潮に乘じ貔子窩街に接近し來り盛に射擊を爲して再び貔子窩に侵入を試んとす是の日陸上の賊の一部は未だ遠く去られさるものゝ如く此の海賊船の襲來は一の牽勢運動に過ぎさるやの疑ありしも是の時恰も歩兵六十一聯隊片寄中尉は花園口より某任務を終へて皈來せるを以て協議の上齊藤警部は市街背面の防備を嚴にして陸上の襲來に備へ片寄中尉其の率ゆる歩兵十一名を海岸に散開せしめ之と應戰し互に銃火を交へたり賊は歩兵の參加を見て遂に一里餘の海面に停泊して機を窺ふものゝ如くなりき

齊藤警部の急報に依り應戰の爲め二十五日午后十時普蘭店を出發したる守備兵五十名は歩兵少尉山崎德一郎之を率ゐて急行し二十三日午后二時貔子窩に到着せり

同じく齊藤警部の急報に接し之れか應援の爲め鶴岡通譯官は二十一日午前二時金州を出發せし金州支署警部補竹貫治氏以下醫師一名通譯一名巡査巡捕二十三名と共に同日午後四時又第二回に派遣せる巡査巡捕十名は同七時貔子窩に到着せり

斯の如く應援隊相前後して到着し陸上の警備顧慮なきを得たるも長山寺、華家屯部内には匪魁、趙幸喜、王東川等更に出沒するの情報を得たるを以て其幾分は各自任所に引揚たり

然るに海賊の一部は二十三日夜東老虎灘附近に他の一部は大沙河口附近に上陸したりとの情報を得たると同時に尚ほ他の一部は海上に備行せるを以て海上警備の爲め水雷艇の來援を求むるの止むを得さるに至れり二十五日午後四時大連を發したる第三十二號水雷艇は同夜七時頃貔子窩沖合に到着し連絡を取る爲め午後十一時艇員の一部及同行の警察官を貔子窩に上陸せしめたり

二十四日海賊五六十名は貔子窩の東方約三清里の前宋家屯に上陸せりとの報ありたるを以て山崎少尉は歩兵三十名を率ゐ鶴岡通譯官は巡査十六名と共に搜索を爲したるも賊は即夜海上に逃走したる後なりしを以て一同同日午後四時貔子窩に引揚げたり

●遼陽知州又々更任 曩に何厚琦氏去り趙將軍の御覺目出たしと稱せられたる鮮俊英氏其後を繼ぎ就任未だ幾くならず今又急命直下再び其更任を見たり現知州鮮俊英氏は左遷せられて新民府管下の彰武縣知縣に轉し彰武知縣周氏榮轉し其後を襲けると遼陽特電既に之を報する所の如し其鮮氏が就任僅に數旬に過ぎずして斯くも突然の更任を見たるは吾れ人共に意外とする所なるが此一事は適々以て近時趙將軍か對日外交策の如何に變化し來れるやの一端を推察するに難からさるべし但世人の記憶には尚存するならん遼陽陷落當時將に退却せんとする露軍を北門に送りつゝ飄然其足にて直ちに日軍を南門に迎へたる當時の知州は即ち此鮮俊英なりしを斯く鮮氏は莽りに秋波を露國に贈りて有力なる親露党の一人なりしを以て一時は露探の嫌疑を被り注意人物を以て目されたるとあり此次突如の更任意外は則ち意外の寢耳に水ならざりしを知るに足るべく疑惑は却て鮮氏が遼陽に來任せる當時に在りとせんか或は云ふ此次の果斷我某氏の助言與りて力ありと（遼陽通信の一節）

●來航すべき第一艦隊 目下渤海灣上に游弋せる我第二艦隊か本月中旬を以て入港すべき事は昨紙記載せる所の如くなるか確聞によれは十三日を以て愈々入港すべく當日は一大歡迎會を開くべく目下在留官民間に協議中なりといふ

●修學學生の來營 十數日前來修學生の來營するもの頻々相繼ぎ牛家屯兵站司令部及び軍政署にては日々應接に忙殺せらるゝ有樣なるが昨日も亦三田慶應義熟大學、早稻田大學、東京高等商業學校、臺灣協會學校、成城學校、府立中學校生徒百六十七名來營し市中を觀覽したるが當地在留の三田出身者は慶應義熟學生八十餘名を商業學校構内に請待して茶菓饗應を爲し早稻田出身者は同大學生四十餘名を東海樓に待して支那料理の饗應を爲したりといふ

●ズビニー夫人 一昨年沙河會戰に露軍は我歩兵第十三聯隊と對戰中其第五日より六日に至る一即ち三十七年十月十二日十三日ノ間に其左腕に負傷し部下に諫止せられて戰線を退きし儘行衛不明と爲れる夫スビニー大尉を尋ね遙に日本に赴きたるズビニー夫人は昨日營口に到着し本日舊戰場に向ひ出發せるか昨日は露領事ベリチエンコ氏と共に軍政署に出頭して旅行上の便宜を與へらるゝ樣涙ながらに哀願せるを以て軍政署は固より守備隊にも移牒して捜索上の便宜を與ふる由なりといふ

●江戸川少佐の去來 新民府軍政官江戸川少佐は過日來旅順へ出張中の所一昨日來營昨朝關外鐵道に由り出發歸任せられたり

●本願寺の日曜說敎 當地本願寺出張所に於ては定例に依り本日午後一時及八時半（營口時間）の兩回に於て日曜說敎を開き信仰の必要なる所以との演題にて寺本布敎師より說敎あるよしなり

●營口佛敎婦人會 當地佛敎婦人會は豫記の如く其例會を一昨三日午後一時本願寺出張所に開きたるか寺本布敎師先づ讀經し次て開會の辭と會の報告を爲し夫れより松井醫學士水の清淨法に就き一塲の演說を爲し顯微鏡により腸窒扶斯の實物黴菌を一般來會者に觀覽せしめ終りに寺本布敎師の演說あり午後四時半退散したり

●瀨川領事談片 今度當領事管內視察として遼陽海城大石橋蓋平熊岳城瓦房店等の地を巡視して歸つて來られた瀨川領事を領事館内に訪問して其視察談を聽いた▲記者は先づ口を切つて今度の旅行は隨分お骨折でもあつたらうが亦頗る有益な御視察であつただらうといへば領事は打消して唯だ飛脚のやうな旅行で何等の得る所も無かつたのである例の謙遜なる言辭が彼の温厚なる唇を破つて出るのであつた▲併し領事は更らに語を繼いで曰ふだが一つ感じた事といふのは戰役後我國民の發展力は非常の擴大力を以て滿洲に浸入し經過地方到る處として日本人の居ない所の無いのは甚だ喜ぶべきであるが併し彼等の多くは料理飲食店にあらざれば必ず遊技店で是等を除けば全く日本人無しと謂つてもよい▲斯る現象は殖民當初の經路として到底免るとの出來ない現象であるかも知れぬが併し現狀の如きは餘りに極端であらう加之ず實業を標榜して居る連中の中にも隨分如何はしいのが多くて成るべく懷手をして金の這入つて來るやうな事許りを考へて居る▲例へば農園を開くと謂つて土地を借りて居る者がある併し自分で自ら經營してやるので無くて又それを支那人に貸付けて其間に若干かの貸地料を收めて遊手徒食して日を暮して居る▲一體滿洲に幾くら人間が入り込んで來たとて眞正なる實業に從事する者が無くちや我邦民永遠の利權を扶殖するとが出來ぬのみならず料理屋や飲食店や遊技屋や乃至は懷手で金を得やうとする連中の多いのは社會上甚だ憂ふべき現象で若し此儘に推移せば滿洲に於ける邦人の前途も詢に寒心に堪へぬのである▲日本人が滿洲に來てさういう營業許りに從事しなければならぬ事は決て無い心掛次第で幾らも仕事はある熊岳城で岫巖石を切り出して製作を加へてもよい熊岳城には山水明媚の地に温泉が出る温泉を一つやつてもよい資本が少ければ少いだけで出來る若し日本人にして眞に事業を見付けんとならば遺利は到る處にあるのである▲蓋平では大嶋興吉といふ人が柞蠶業をやつて居るまだ大仕掛けの事業では無いが極めて實着で收利も相應にあるさうだ是等は滿洲に於ける企業者の模範として世上に知らせて置く必要があらふ▲恰も杜頭の時辰十二時を報じければ談半ばにして辭し歸る言責は固より筆者にあるのである

●楡關より

▲小生今朝御地發歸途に就き唯今楡關に入り候車中は唯小生一人のみ加ふるに降雨蕭々を以てし頗る旅愁を感し候▲錦州にて北京に於て相知れる一武官に邂逅し立話し致し候處近來同地附近には紅鬍子出沒昨日も一隊の馬賊附近の村鎭を荒し目下勦伐中の由前には普蘭店の騷動あり今後此の亂耗を聞く誠に物騷なる世の中に候▲當地は昨日來近來稀れなる大雨にて北戴河附近は非常な出水にて北京よりの下り列車は二時間餘を遲れて僅に唯今到着致し候由是觀之同地附近に於ては多少の損害なりし事を想像致され候▲當地は御地と同樣頗る不景氣の模樣にて宿屋なとも頗る蕭條を極め居候當地の特產なる香魚は近來大生長し既に二寸餘と相成候併し近來時々出水ある爲め收獲面白からず殊に今日の如きは全く影を市塲に絕ち其美味を賞するを得ざりしは遺憾此上も無く候（八月初二日黃昏 宮生）

日報俳壇

素足草鞋に瀬戸のかけ踏む暑哉 醉雨子
百日紅大工の午睡長きかな 仲六
寄宿舍や音痴を叱す蚊帳の中 古江生
寐つかれぬる蚊帳に團扇の聲す也 小僧
旅僧あり夕顏の宿に物申 老兵
川風に燈ゆらく樓や青すだれ 稻波
裁縫の師匠肥たり青すたれ 木嬰
青簾風かもて來る謠かな 月浪子
虫干やいさ物語らんと鎧着る 千曲
夏菊のやさしき花の咲にけり 野梅

▲夏季雜題 得るに從ひ揭く續々御投稿ありたし

營口重要

穀物相場

		兩錢
青豆	一石	六、〇八
黃豆	仝	六、〇八五
黑豆	仝	六、〇二

綿布相場

		兩錢
大鹿	一疋	四、〇九五
番狗頭	仝	四、〇七五
金人牛	仝	四、〇六

綿糸相場

		兩錢
老人馬	一疋	四、〇六
金奎鼻布		六、〇〇
藍團龍布		五、〇六

綿花相場

		兩錢
彩美人	一梱	七五、〇五
人担茶	仝	七六、〇〇
紅竹	仝	七五、〇五

	兩錢
內地向	一〇一、七五
上海向	七五、〇二五
天津向	一〇三、五〇
芝罘向	一〇三、五〇

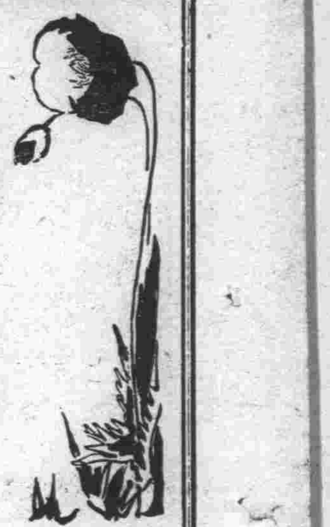
（軍票百圓 銀百弗）

會席 三川 營口警務課

淡谷 本號開設營口東青堆子發賣栢木方料 栢木元料紅松料木油松方料元木大小 檩子廿四尺栢木大行木板比木材出售

晴

營口天氣豫報 自三日午後六時至四日午後六時



新作小說 おとし胤

六十九　徳田秋聲

「いや。」と波川は、頭を振ッて、「放任主義といふと何んだか無策のやうですが、決して意味の無い無策では無いのですな。」

「ほう、何うしてな。」

「何うしてと謂ッて、夫人が破產云々を有仰ッて、親族の方々と何なさるのは、そりや本意ぢや無い。其ンの威嚇に過ぎません、其樣なことは申上げるまでも無く、閣下にしても御了解になッてお在であります、が、御參考までに申上げます。自體夫人の御氣性として、櫻島家へお歸りになッて日蔭者になッてお在になりませうか。本意を叩いたら、閣下が禮遇停止を苦痛となさるよりは、夫人の方が二倍も三倍も其を苦痛となさるのではありませんか。

「それは然うぢや、那の虚榮心の强いことゝいふものは、尋常で無いからの。」

と海鹿子爵は、思出したやうに葉巻煙草を燻らすのであッた。

「然うです、然う申しては、奈何はしい次第ですが、實際其に違ひないのです。さて違ひないとして見ると、夫人の今度の態度は虚僞といふことがお解りになりませう。親族の方々から告訴をすると有仰ッたにしろ、それこそ八方策を施らして、所謂態面を維持なさるのです。それを御自分から進むで、御自分の肩身を狹くなさらうといふのですから、こりや恐らく底に底があるといふ譯なのでせう。何しろ那の才の働く方ですから、閣下を壓伏する手段として今度の騷を惹起されたに違ひない。」

「無論然うだ、それに違ひないのぢやから、俺も何んぢや、其の覺悟を持ッて、これに當らうといふのぢやが………」

「いや、そうですわい。」と波川は、にッこりして、「既に夫人の本意がお解りになッて居ッたら、閣下は惡くお騷ぎになッては可かん。覺悟だとか、これに當るとか、此の場合其樣な眞面目にお考へなすッては可かんです。何處までも知らぬ顏………何樣な事があッても何處で風が吹くといふ態度……… 所詮放任主義で冷靜に夫人の爲さることを見てお在になッたが可いです。お騷になッては、反ッて敵に乘せられるゝといふものです。夫人が何んで禮遇停止となるやうなことをなさるものですか。」

「それは大きに然うぢやの。成程少し騷ぎ過ぎたかな。」

と海鹿子爵は、少し莊ッとした顏で、眼の覺めたやうにいふ。

「然うですとも！　閣下が知らん顏をしてお在になッたら、それで敵の謀の裏を掻くやうになるのです。無策無言、それで此方の勝利となるのです。加之今日の園遊會の斷行……… これがもう勝利かも知れんのです。これで閣下の主張は通ッて了ッたのですから、これからは默ッて夫人のなさることを見てお在になれば可い……… 何を爲さるか、何樣な策畧をお施しになるか。要するに第一の策戰計畫は見事に失敗に終ッたのですが、此の次は何うなさるか………

何れにしても、親族の方々の御負債で破產なさるといふことなどは、斷じて有り得べからざることかと思ふです。万々一、其樣な事に成行きましたなら、また何んとか……… 御負債の幾分を償却して調停致しますやうに、私、必ず御盡力致します。」

「いや、然う聞いて居れば、俺も至極安心ぢや。何分よろしいやうに頼みますぢや。」

「そりや必ず私の出來得る限り御盡力致しますが……… 閣下もまた何んです。强硬な御態度でお孃樣の爲に御奮鬪なされたいものです。」

「それは無論のことぢや………」

とさも愉快げに謂放ッて、腕を反らして、ふと傍を見ると、何時の間にか、家扶の合田がノッポリ突ッ立ッてゐた。

雜報

●兒玉大將の風流(上)

(京都藝妓松本さだの談)

私の初めて兒玉さんにお近付きになりましたのは祇園の中村樓へ君尾姐はんとおこだ姐さん(今は一力の女將)それと私の三人が招れて參り八島を舞ふた時で私が二十二でしたから今から丁度十三年前でした二度目は翌年塚本樓(貸座敷にて今はなし)の呼次で上木屋町の大津家でお目にかゝりましたが其時君尾姐はんの媒介で始めて……… だつたのですそれから六年斷續いて居ましても毎年一度なり二度なりは必らずお目にかゝりましたが關係がなくなつてからも來京の度には屹度呼で下すつて大津家のおきやうさんにおふくさん(同家の娘)と三人揃ひの羽織を頂戴した事もあります頂戴したものと云へば未だ外にお手紙やら衣服の裏に書て頂いたものがあります、それはこの通り繪葉書にもしましたくらゐ是までも大切にして居ましたけれど今後は一層大切にしなければならぬ紀念となりました」とて取出し示したる書翰は本年三月四日出にて封筒に「市谷藥王寺前町卅番地」としたる處判が捺しあり

御手がみありがたく奉存候とかく新聞のはやみゝにはこまり申候一人の寫眞は近々御おくり可致候、此せつは○さま御かへりにて御たのしみと存候、あたゝかに相成候はゞ花見に出かけたくぞんじをり申候まづは御へんじのみかしく

四日　こだま

松本樣

手紙の中に新聞の事か書てありますのはこの一月に大坂の淡路家(大將の泊れる旅館)から電報で來い〳〵の事てしたから直ぐ行きました事を朝日新聞か神戸て何したもか書かはりましたからお娯みに切拔て大將に送りました其の返事です」とて取出せしは五月六日出にて日露戰爭紀念繪端書に

四月三日の觀兵式　兒玉源太郎

と記し無切手にて投函せしを京都局にて倍額の切手を帖附し紀念スタンプを押捺せしもの及び去年十一月東京築地ひさご家にて大將の最負を受けたる十六名の藝妓か其凱旋を祝して大將を招待したる際、杵家勘五郎、同喜久次郎、吉村伊十郎等も共に撮影したるものなり(つゞく)

流行

▲流行の時計鎖　時計の流行につれ鎖も相應に變化をして居るか、相不變形は平縄が第一で角長鎖が次で其他はあまり歡迎されぬ、夏向としては純金なら目方は全然重くない方がよろしく十匁位がとまりである、赤銅に金張鎖も廉價であつて一寸ごまかせる所から充分もてはやされて居る價は金で四五十圓位、赤銅は四五圓位である婦人用としては金に限るが近頃は皆首から掛ける鎖である形は男物と同樣平縄で目方は五匁以下の極く小さいものが全盛である價は普通四五十圓である

▲流行の時計提　當今は時計提は磁石入は全然すたれて、メタル等が流行つて居る形はハート、丸、四角等であるが男子持ちとしてはメタル形の無双の磁石入りも流行る婦人持ちには極く小さいルビー等を入れてあるのもあるしダイヤモンドを入れてあるのも相應に歡迎される價は男物で五六圓、無双の磁石入りは十圓よりある、婦人用のダイヤモンド入りで四五十圓、ルビーならば十圓內外のが最賣行よい

近頃時計を鎖なしに小さいリボン等で一寸くゝつてポケツトに入れて置くのも流行るがこれも相應にハイカラらしく見ゆる

●新演劇好美團一口評

朴捻生

(服從は國家の爲 阿兄は自已の爲 武士的敎育 全七幕)

開演後記者も二三回覗いしたれども其不味さ加減迚ても箸にも棒にもかゝらず搗て加へて一座連中の不品行の惡評は全市の同胞をして爪彈きせしめ爲に同情は全く地に墜落し日一日と悲境に沈倫し歸國費はさて置き殆と日々の糊口にさへ窮し今は最早如何とも詮術なき折柄昨年當地へ乘込みし扶桑團の壯俳松尾亮の居殘りを幸ひ彼に援助を頼み一面大連の同業者に話して二三名を聘し一日まで受けし汚名を雪がんとの意氣込み實に盛なりと云ふべしいや一座車輪の勉强を拜見せんと昨夜八時過から覗見と出懸けた一口評を左に記せんに記者の見たのは聯隊長庭前の場のからであつた

▲伊井薫　の櫻田勇吉何しろ川上音次郎に當はめて書卸したのを伊井がやつてのける大膽さ驚かざるを得ない而し同役は伊井の外他に持て行く人は迚ても同座には居ない下らぬ小言は扨て置き樺島庭前の場ではどうやらするゝ櫻田軍曹は敵役ではあるまいかとの案じが見ゐたが二幕目深谷を投げてのへゝゝゝと大きく笑つての幕切から見直した三幕官金盜取の罪を夫人道子の爲に頼まれ樺島大佐からは始末書を書くべく迫られ身體谷まつて書きますとの泣落しの幕切當狂言の骨髓の塲に至つて確に同情を引た、工事々務所の塲で大佐より縄目を解かれ晴天白日の身となりし喜びの餘り大佐に取付いての嬉し泣は手一ぱいに消化れ目でたえわつた總じて熱心に演じられての大出來は流石座中の貫目充分に見ゐた

▲川上猛　の補邊初子洋行戻りの令孃とは少々受取り難い言語動作はハイカラのようなれど餘り戯服か出來ない隣ノ棧敷に居た客が曰くアヽいふ手の女は軍政署へ居留認可を貰ひに來てるぜとは寧ろ適評だらう

▲秋山二郎　の深谷與一郎ハイカラの輕卒漢今一と意氣の勉强か肝心

▲花岡紫郎　の惡漢樣七タンカの切れる所確に江戸つ子と見受けた恐喝の塲も滋くやつてのけたが風船の塲援けの爲め役の立消えは氣の毒だ

▲木下薫　の夫人道子以前無頼漢女房にありし面影は消え失せて樺島の夫人とは確に受取つた砲臺工事事務所の塲にて已れの罪を自白してより恩義ある櫻田を救ひ恩義の發砲を致しました所娘民子の事を夫大佐に嘆願しての泣落しに至るまで流石は女形として一點の申分なく觀客の同情を引き婦人連は何れもハンカチフーにて顏を覆ふた人も大分有つた樣に見受けた

▲松尾亮　の樺島大佐人品骨柄に至る迄大和武士の面影を發揮し又多情多血の軍人として申分なく通して無難の大出來殊に砲臺工事事務所にて夫人道子の自白を聞き「女と云ふものは罪の深しいものだのふ」の所頗る見上げた、そこで此句に續いて櫻田軍曹に「天日は赫々として正理を照し玉ふものですね」位をやつて貰ひたかつた

▲櫻井一醉　の太田原少尉、春日定治の荒川少尉、其他の役々御苦勞〳〵

◉煉瓦販賣

上り竈ニテ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦ガ御望ナレバ當洋行ニテ御需メクダサイ

二本町　高坂洋行　煉瓦製造部(電話九十番)

硝子、陶器、藥種、雜貨、質商、魚菜ラムネ、檣柑水製造販賣並に清酒金水、龍印特約一手販賣其外洋酒類

特にラムネ及檣柑水は夏季の飲料用として原料を精撰吟味す

遼陽西門外街　林洋行

廣告

明治卅八年末より本年七月の間に於て軍用準備墻の名義を以て代議士降旗元太郎君會計佐志雅雄氏資本主清國人との協同營業に係る墻復州五湖嘴東関湖の賣買幷びに業務取扱ひの件中資金の費消、決算の未了苦力賃の不始末二重轉賣等の儀に就き拙者が曾つて右事業の一部に關係したる爲め辱知諸君より異樣の御質問を蒙り一身の名譽上迷惑不尠拙者は右樣の不都合なる行爲には全然關係責任なき者に有之候間右爲念茲に廣告致候也

明治卅九年八月五日　東菊松

廣告

弊洋行儀都合有之今般營口を引揚げ候に付此段廣告す
追て殘務整理は元神廟街第四十三號(李俊裏)にて取扱候也

八月　日　永世街　田原洋行

靴製造幷に修理

右安價を以て確實迅速に調製可仕候間御注文の程奉願上候也

營山元神廟街郵便局官舎向ひ　桑田靴店

土木建築用諸木料
板硝子類
マルソイド便利瓦
九州セメント
オールドスコツチウヰスキー

廉價販賣

營口青堆子綏定門外　志岐組　商業部

醇良日本酒　金露
孔雀印平野水
サツポロビール

大販賣　和洋雜貨　洋酒化粧品　千賀洋行　奉天鐘樓南大路西
販賣　酒類　食料品　千賀洋行支店　奉天小西關大街路北

大連大山通三丁目三十一番地
法學士　辯護士　値賀連
目下當地左の出張所に居住す
營口永世街第三號ノ二(金城舘ノ南隣)

精乳軒牛乳販賣所

今般其筋の許可を得左の處に於て精良牛乳販賣仕候間多少に拘らず御試用の程奉願候

元神廟街二四九　電話三番

近江病院　水世街二本町

院長　近江周友
副院長　増田八郎

內外科梅毒婦人科眼科胃腸病專門(午前宅診 午後往診)

入院治療を諾す
但輕便入院法あり來談を乞ふ

盛海洋行　營口永世街
玻璃　玻璃器　洋燈

基督教會堂

八月五日日曜午前十時(營口時)定期禮拜東京より渡來されたる牧師石原保太郎君說教

領事館裏カルソン氏邸內

社告

一週年大福引會豫告

今回本社創刊第一週年記念として聊か讀者諸君平素の御眷愛に酬いんか爲に大福引會を催し多數の讀者に一人も漏れなく景品を贈呈するの方法を採ることに致しましたその景品中の重なるものは

一等	金時計(大賞堂保險附)	一個
二等	貴婦人用帶地	一筋
三等	純金指環(白木屋呉服店 大西白牡丹製)	一個
四等	上等洋傘	一本
五等	縮緬兵兒帶	一筋
六等	縞毛布	壹枚
七等	フランネル單衣地	壹枚
八等	勸業貯蓄債券	壹枚
九等	巻煙草入	壹個
十等	言海	壹部

(十一等以下は漸次發表します)

等であります、月極讀者は勿論今後滿一ヶ月以上本紙愛讀の方には周く福引券を配布します、景品陳列及び抽籤方法等の巨細も亦追々と我紙上に掲げます

有志家寄贈副景品

▲白米　一俵	第三樓
▲八丁味噌(大樽)一丁	金城館
▲手拭　十反	日本館
▲エジプト紙巻莨五箱	第一樓
▲縮緬上等兵兒帶一筋	奉天金城館
▲臺灣製夏帽子十個	醉花園
▲玉突券五十枚	第二軒
▲平野水四ダース二箱	東邦亭
▲エジプト紙巻莨二箱	三日月樓
▲澤庵積一樽	公樂園
▲麻製ハンカチーフ五ダース	東雲館
▲麻製ハンカチーフ五ダース	大和館
▲敷島紙巻莨二十入三箱	萬直し
▲上等西洋料理券三枚	牛莊ホテル
▲リンネル上等洋服一着	富永洋服店
▲上等セル地婦人單物一枚	祇園閣
▲置ランプ三個	三友洋行

滿洲日報社

諸毒くだし 毒掃丸 一名一ケ月丸

梅毒、そう毒、しつ毒、胎毒よこね、かんそう其他諸毒又ハのぼせ、頭、顔、手足に腫物生し困難なる人一日も早くためし見よ

軽症ハ二週間重きも一ケ月間ニて全治すべし故に一ケ月丸の名有り

大日本帝國東京市山崎帝國堂大藥房製劑 **毒掃丸**

本劑實爲梅毒專治之靈葯故瘡毒、楊梅毒、天梅毒、便毒、胎毒濕毒、淋毒、疳瘡、及筋骨痛梅毒性咽喉爛及口中紅爛先天及後感梅毒性眼疾頭痛耳鳴等症服本劑其効神速的確恰如操左劵凡用本劑者病毒輕者則二禮拜乃至四禮拜全癒重者則百日乃至百五十日除根矣無一慢若無病之人服常本劑能快通大便排泄百毒庶足以徵其効驗也

●定價四日份 三角
●一禮拜份 五角

營口永世街(司法部前)

總經理批發 回天堂三木大藥房(電話百九十番)

廣告

スペシャルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に釀造せるものにして原料精撰風味高尚夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり

高等麥酒スペシャルライト

本月一より麥酒取引は一切現金にて御願申上候

六月

釀造元 **大日本麥酒株式會社**

滿洲一手販賣店 營口元神廟街 **關東公司雜貨部**(電話五番)

分店 奉天四平街電話十三號 **關東洋行**

● **盛進商行** ●

革麻坐蒲團
旅用衣裝鞄
婦人用洋傘
洋服附屬品
流行靴各種
椅子類各種
卓子簿記臺
油多加織類

品質の精撰と薄利は弊行不動の主意

幸御愛顧の榮を給はらむ事を伏て奉希上候

雜貨 洋酒 煙草 卸し 小賣
大連 南洋 湖北 彩票 販賣

營口 **周** 西北街 **裕和盛**

鑵詰 紙 化粧品 特ニ安賣
東淸鐵道 遼河貨物 運送

電話八一

御料理旅館 三河樓支店

弊館は奉天城外十間房第一風景美なる地にありて最も納涼に適す今般業務擴張と同時に改壯なる日本家風の二階屋新築し樓上等も暑に應ずる設備致置候間續々御光來被成下度伏して奉願上候以上

樓主 川上總吉

祝開業一週年

弊店儀皆様の御引立を蒙り日に月に繁昌仕候段難有御禮申上候就ては今回開業一週年を期し内地より藝妓仲居新顔を呼寄せ座敷等も閑雅に夏向は殊に納涼に適ふ樣大に改良仕明二十六日より來る八日迄左の方法を以て御客樣の興を相添へ聊か平素の御愛顧に報ひ度候間何卒御誘合せ御光來の程偏に奉願上候

福引會席御料理 壹圓

左の十二月に分ち御引出の籤に當りたる月に依て差上可申候

正月 ビール二本 會席五品 藝妓一時間
二月 會席五品 御酒一本
三月 會席五品 ビール一本
四月 會席五品 御酒二本 敷嶋たばこ一
五月 會席五品 ビール一本
六月 ビール二本 會席五品 藝妓一時間
七月 會席五品 御酒二本 敷島たばこ一
八月 會席五品 ビール一本
九月 會席五品 御酒一本
十月 會席五品 ビール一本
十一月 會席五品 御酒二本 敷島たばこ一
十二月 會席五品 ビール二本 藝妓一時間

月 日 營口豐濟門街 **柳亭**

祝開業一週年

開業御披露廣告

遼陽城外西門外街西へ入

和洋御料理 遠山館

今回皆様方の御勸により遲れ勝に開業仕候へ共料理と勉強とは決して美形と待遇とに遲れぬ樣にと精々注意可致殊に一棟は西洋料理室の專用に充てコックも本國新來の腕利を雇入れ候へば美味は受合且輕便を旨とし一皿にても貴需に應ずべく候條陸續御來館の上御試し被下度奉希候以上敬白

御料理旅館 **扶桑館**

奉天大西関大什字街
第五分局千〇六十八号
館主 堀田ハル
電話 号

改名業務擴張廣告

御料理旅館 **東來館**(元月叶改め)

遼陽陳家街破水ノより東へ入ル右側

今回元叶月を東來館と改稱致候に就て萬端を刷新すると共に業務を擴張し精々勉强仕殊に御料理は輕便を旨とし時節柄一層吟味調進可仕候間陸續御來館の程奉希候

遼陽兵站部取扱所御指定旅館

遼塔ホテル(遼陽城外喇嘛塔下)
遼東館(仝城内□街)
滿洲ホテル(仝城内西街)
浩氣館(仝城外喇嘛塔側)
藝陽亭(仝 門外通)
遼陽館(仝城上)
東館(仝城内東街)
滿洲館(仝城内北街)
梅廼家(仝城外西門外通)

料理店 滿月

平野町(電一六二)
滿月支店 平野町入口
店主 青木勝惠

○板材木 ○蚊張
○金物類 ○金庫
○疊建具 ○花莚
○椅子テーブル ○ペンキ
○洋燈類 ○文具
○鰹節雜魚 ○紙類
○酢醬油 ○罐詰
○其他雜貨色々
新荷着大安賣

石

營口西北街 **石光洋行**

遼陽西門外 **石光洋行支店**

土木建築並ニ測量設計請負

營口青堆子綏定門外 **志岐組**

廣告

弊店義に廣告致候通り内地へ引揚度き爲め商品「メチヤ、クチヤ」大安賣致居候に付御買上け願上候尚預り時計は今鑑を引替八月三日迄と廣告致置候へ共未だ御申出無之方も有之依て八月五日迄延期致候間同日迄に乾度御引替願上度若し其後御申出相成とも無効と御承知被下度爲念再度廣告仕候敬白

明治卅九年八月二日

營口元神廟街 時計商 店主 **志方吉太郎**

資本金參拾萬圓 日清合股

昌 滿洲昌圖株式會社 **營口分局**

營口元神廟街第貳九八號

總局 盛京省昌圖府東街

既設分局 牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽

本公司經官准認眞開辦左開生理

一、東淸鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨匯兌
五、各支店所在地棧房

兼辦關内外鐵道及海外轉運(與大淸通運公司連絡)東淸鐵道沿線緊要各站分局現方在設備中倘蒙惠顧貨客親自到本局房及各處分局賜房商務謹白載路途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按照地市價包賠此

新荷着

窓掛及附屬品 夏帽子各種 戸田式爐木器 宇治新茶 ワイレヤツ及カラー 學校用文房具各種 合種複寫簿

裝飾用品 洋食用品 肉碎器 秤卅六貫以下種々 手提金庫 コッピー用附屬品

關東公司雜貨部 營口(電話五番)

病室増築輕便入院

是迄病室少く多數の貴需に背くを遺憾とし今回更に増築し輕便を懇切を主とし一層院務を擴張し汎く專門の功果を收とす

○全身魔醉○ ○局處魔醉○
○嶄新器械○ ○無痛手術○

○梅毒○ ○婦人科○ 專門 **日本醫院**
○外科○ ○胃腸病○

東洋雜貨 賀眞價實

加藤洋行

東海關後街

本行 天津
分行 營口 北京 大阪

牛莊松岡病院

内科 外科 眼科婦人科診療 入院治療を諾す

外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血淸療法を施す

元神廟街第百三十四號

全科醫士 **松岡玄雄**(電話一五一番)

宮門抄

初八日

兵部 太僕寺 廂白旗値日無引見 新授開原城守尉載專謝 恩 蓋州城守尉多壽謝 恩 道府祁頌威等謝 恩 薩蔭圖預備 召見 陸潤庠請假十日 宗人府奏派正進補進王公六班 派出毓公岐公奎公德茂載鎧載岐溥多 分發直隸試用道江忠淦謝 恩 花翎江蘇候補知府鄧文謝 恩 湖南補用知府彭家驥謝 恩 分發山東試用知府趙英翰謝 恩 召見軍機 薩蔭圖 練兵處肅王各遞封奏一件 皇上明日辦事後卯正還宮至 奉先殿 壽皇殿行禮畢至 聖容前行禮畢仍還頤和園

初九日

刑部 都察院 大理寺 廂紅旗値日無引見 色林端魯布謝承襲王爵 恩 陸潤庠謝賞蟒袍 恩 載鎧謝補進王六班 恩 陳兆文續假十五日 召見軍機 內閣 都察院遞封奏各一件

初十日

工部 鴻臚寺 正藍旗値日無引見 奎公岐公照公謝正進王六班 恩 張仲元姚寶生謝賞食四品俸 恩 召見軍機 唐景崇 葉芾棠遞封奏各一件

上諭恭錄

初九日奉

上諭河南南汝光道員缺著吳𡩋補授欽此

奏議

署江督周等奏查明丹徒縣漕糧積弊酌擬整頓辦法摺

奏爲遵旨查明丹徒縣漕糧積弊酌擬整頓辦法以蘇民困恭摺覆陳仰祈

聖鑒事竊臣等承准軍機大臣字寄二月初九日奉 上諭有人奏江蘇丹徒縣漕糧積弊太深請澈底根查以甦民困並將該縣戶書提省嚴訊各摺片著周馥陳夔龍按照所參各節確查分別奏明辦理原摺片均著鈔給閱看欽此當即札飭江蘇藩臬兩司派員前往會同印官澈底根查茲據該縣委按照原奏各節查明稟覆由該管知府轉經布政使濮子潼署按察使朱之榛核議具詳前來臣等覆加考核詳細圖維謹將查明一切情形及酌議整頓辦法爲我 皇太后 皇上縷晰陳之如原奏征糧之法以編造魚鱗册爲最善蘇松等府州縣歷經次第編造民成稱便惟丹徒則以田從戶由來已久以致豪胥猾吏因緣爲奸熟冒作荒荒冒作熟黠者有田而無糧愚者有糧而無田隱匿飛灑莫可究詰於是包賠之禍作包賠不已死者塡溝壑生者輕去其鄉疊次鬧漕蓋因乎此一節查魚鱗册籍爲清釐田戶之本以圩領戶戶不離圩按册而稽瞭如指掌乃丹徒原有之册自經兵燹遺失無存馴至圩段不明田糧各寄端本清源自以續造魚鱗册爲正辦惟造册必從清丈入手而徒邑段南各鄉山𡶶居其大半狹隘峭峻與地勢平衍不同弓丈既不易施辦亦難得實且一切經費爲數不貲取諸公則款無可籌取諸民則力何能給經理稍有未善隱患不可勝言爲今之計莫如舉辦清查較爲簡便其法以擠查實熟豁剔實荒爲要領譬如某鄉村某圩某姓之田究竟墾熟若干未熟若干拋荒若干各鄉里𢵧必有底册可稽應飭一律繳出一面示諭民間所有荒熟田地悉聽自報註明册內然後選派委員會同地方官申按鄉照册逐一分查果有已墾未墾及已墾復荒田地應准剔出限令自行墾復或租歸該縣現辦之樹藝公司展限墾者並准樹藝公司隨時詳領分別情形數年再行啓徵此外無主荒地及無力自議限啓徵其現應啓徵各田地即另編清册將業戶姓名科則鄉重備細開列撮合歸戶似此辦法無清丈煩擾之累而收清再分晰之效此後徵糧概可從田自無隱混飛灑之弊此擬以清查之法革除徵糧積弊之情形也 又原奏丹徒山田賦額本重加以漕腳運費每畝正供約制錢四百餘文而圖董里運開倉驗票祟大馬各項輕派又加一倍近年稽查荒地歲必加墾理應實墾實報乃書差奉行不力於五畝者派令報墾二三畝雖實在未墾亦認完虛糧其未報墾荒者每畝仍給費未墾荒地有十畝者派令報墾四五畝有若干始得列於荒田之數一節查丹徒徵收忙漕向照常州府屬武陽兩縣義圖成案由民間自選圖內殷戶十人分爲十甲按年輪催如甲年應頭甲即以頭甲爲里運忙漕統歸催辦其餘九甲謂之甲長隨同幫催認定限期令糧戶同赴公所各村掣獲糧串憑同現年里運及甲長書老按戶查驗謂之驗祟藉以稽核完欠由里運供給酒食茶點其費則派令糧戶按畝抽捐此外歷來公用如報賽出會以及善舉等項無不派之田畝多寡雖無一定尙不至較正供又加一倍驗祟之時查有糧戶未到或到而無串可驗者即屬欠戶由里運查開戶名欠數稟縣差催糧差到鄉即有轎飯錢糧洋烟等費名目由來已久上年該置縣郭重光於整頓圖規案內已將 倉驗票轎飯洋烟等名目及報災勘災造册各項雜派規費一律革除稟明在案至該縣荒田自光緒二十五年淸賦案內報明墾復此後並無續行報墾者既無熟墾之戶其無派令報墾又給費列荒之事可知此現已革除浮費及荒田並無續墾之情形也又原奏合邑山都鄉田共有十萬畝之多而縣徵糧米照舊額遞增至數萬石書董里運所斂規費數亦稱是民情壅遏無所控訴激而爲鬧漕之舉勢所必然一節查該縣荒熟田地截至三十一年秋勘止成熟啓徵各則田地山塘八十九萬五十餘畝未墾各則田地十四萬畝零核與原奏荒地十萬畝之數尙有不符惟已報未墾已墾復荒地畝究有若干未據各鄉隨時報縣且此項田地大抵半雜各圖熟田之中須俟淸査事竣方可核見確數至該縣額徵忙銀七萬六千七百餘兩漕米四萬九千八百餘石近年雖飭厘剔增徵仍未能規復舊額即以上年而論僅徵忙銀三萬六千四百餘兩漕米四萬一百餘石較之原額除蠲減外所徵忙銀不及五成漕米亦祗八成左右原奏請照舊額遞增至數萬諒亦傳聞之誤其書董里運規費雖已由縣革除難保不日久生玩已飭該縣勒石縣署頭門永遠禁革並摹揭示式通送查核如果書差人等敢再巧立名目攤派累民准民間指名控訴立即嚴拏究辦以肅法紀此核計該縣荒地徵收約數及現擬力除壅蔽之請形也竊維丹徒鬧漕不止一次雖係刁民煽惑亦斷非無激而然現在辦法不外釐剔荒熟以免虛糧之害革除規費以免厲派之害惟淸釐之法不言丈而言查實爲因時制宜並非避難就易臣等往返商榷意見省同擬俟奉 旨後即飭司遴派妥員前往該邑會同地方官紳認眞辦理不准假手胥吏以致擾累其各項陋例規費既據查明裁革應毋庸議第有 法尤賴有治人苟非地方官公正廉明則若輩難免復萌故智應由臣等愼選司牧考查整頓以期弊絕民安至樹藝一端屢經飭屬切實勸導該邑風氣已開近日城鄉紳董稟請開荒種樹者不一而足均經稟官給示保護臣等仍飭農務局督令府縣因勢利導次第擴充俟辦有成效再行奏咨立案除將戶書石寶山石富年訊明擬辦附片陳明外所有查明丹徒縣漕糧積弊酌擬整頓辦法緣由是否有當謹合詞恭摺具陳伏乞

皇太后 皇上聖鑒訓示謹 奏奉

硃批該部議奏片併發欽此

中外要聞

●彭匪刼欵戕日兵之猖獗 聞有彭匪入股隊約計一千五百名結成隊伍以襲在雞子窩日本官衙刼奪所有官欸十萬圓而去現日本巡查與中國巡兵合力防戰傷斃者不少匪徒等火燒民房兇焰橫恣又於距普蘭店東約二里之東家房襲擊日本巡查駐防所有巡查四名內有三名門死 人僅免又捕其妻與其他日本婦女一名而去聞有彭匪領袖苑五者與東三省彭匪聯絡一氣擬組織大股匪隊自統制 意在滿州地方盡殺斃外人驅逐其勢力以入張匪啖也滿洲治安一事岌岌乎危哉

●開放大連問題 東報登錄外務大臣林子爵談及時事據云日本所以不能直將大連灣開爲商埠者非別有意見因戰後經手事務尙非淺鮮應俟有頭緖再行開放以爲不得已也蓋戰後城邑尙有軍隊駐屯現於大連及南滿一帶地方士商與軍隊居留者爲數約百萬而此等軍隊與土商所需之物胥集於大連灣故該埠進出之商船與卸載之貨物極形忙碌蓋恢復舊態非朝夕之故惟開放大連任船舶出入並允認外人居留租地關於警務及司法機關須預備一切想戰後施設事宜非止一端此際驟改備諸實非易易況撤兵時期在明年四月乎故在此期內不行開放尙可也然日本自保有日本之主義必一意遵照此主義從速開放以期與列國均霑利益已擬定於九月一律開放正在預備一切願列國安靜候以信賴我所爲也云云

●達賴回藏展期 署烏里雅蘇台將軍參贊大臣奎煥致政府電云遵電諭迭次催達賴喇嘛由三音諾顏部啓程迅速歸藏以免受俄籠絡等因現據達賴喇嘛覆稱因炎夏雨期行路不便請展期秋間再行啓行回藏懇代奏等語謹聞 政府已允准矣

●電籌黑龍江開埠經費 署黑龍江將軍程德全電聞齊齊哈爾商埠一節經政府電該將軍將經費籌妥及開埠章程具奏前來再行定奪茲聞程又電奏聲明經營商埠需款孔棗擬請由放荒項下提款作爲開築商埠經費云云

●督撫更動與立憲消息 官場消息云俟端制軍方回京時充爲江督將江督周玉帥轉調粵督將粵督岑雲帥轉調閩督是否確實尙未詳悉或云俟四大臣回京兩宮召見袁張兩督以便與四大臣妥議制定憲法並派張香帥爲編纂憲法大臣云

●中國創編黃皮書 北洋袁大臣前次纂修約章告成業經進呈並頒行各省在案聞原書僅截至光緒三十年止此外仍應續編相循不絕聞袁慰帥已奏明仿英國藍皮之例每季編定黃皮書一册記交涉約章公牘事宜刻已派顏世淸觀察赴部查錄三十一年成案矣

●派員赴奉查辦 聞政務處密派章京戶部郎中李工部員外郎松借供事四名前往奉天調查一切已於日前首途矣

●查看秋操戰地 日前軍政司王止使並練兵處委員乘京漢火車赴彰德府一帶會同湖北河南各鎭官長查看秋操戰地布置一切云

●核准裁改捕盜各營 聞練兵處日前咨照盛京將軍略云前據奏稱各屬轄境遼闊伏莽未靖巡緝稽查均恃兵力而原有捕盜營勇衆寡不一名目互異擬以地方之繁簡盜案之多少酌定額數一併裁改各等情自應照准嗣後如有應添設治理之處希即隨時酌定辦理以資整頓

●刷印局之聽辦 戶部奏准開設刷印局以預備刷印紙幣現止在採擇地基聞有派赴日考查幣制回國之薩季謙觀察爲該局總辦之說

●蘇撫爲東台毀學事覆學部電 北京學部鑒洪佳電悉東台滋事一案據知縣馬枚稟係因米價驟漲貧民在米店爭鬧聚衆將夏紳家搗毀一空並有多人至高等小學堂沖打遺入燒毀房屋三進共九間等語又據夏編修電同前由並稱聞有反對新學者暗中鼓惑云敝處已電飭該縣查拿爲首滋事之人訊明嚴懲並由寧蘇分派委員前往確查稟辦該縣疎於防範已由江藩司先記大過三次並飭賠修學堂倘不獲犯即予參辦頃據委員稟稱已獲三名正在訊供合先稟復

●日本魚雷艇之製造成 日本戰戰時籌劃之魚雷艇二十九艘白妙號刻已舉行告竣之典

●恩賜大將邮欸 日皇偕皇后追念兒玉大將之偉功恩賜葬金五千圓由太子賜金三百圓並由日皇特旨賜邮金五萬圓

●兒玉大將葬儀 兒玉大將葬儀已於日前舉行此日冒猛雨來會者約計數萬人洵爲異常之盛儀

●俄收款之比較 俄國於今年五月間收欵約計八億二千七百萬盧布比較去年是時收欵七億八　二百萬盧布實多有五千四百萬盧布譜

今年上半期出口欵項約計四億六千八百萬進口欵項一億八千四百萬盧布

●俄首相之政策 俄國新簡首相斯杜里平意擬簡派立憲民政黨領袖充爲大臣以組織內閣

●德議員擬攷察亞東情勢 德國議員杜經普敵爾等爲攷察亞東情形起見定於八月一日由諸慈亞程前往

●英海軍提督擬辭職 英國地中海艦隊司令官敵列斯法杜提督意擬辭職係因與海部大員致生誤會也

●歐州豐稔 歐州諸國禾稼豐收美國尤占大有年德國所到之地亦稱豐稔

雜報

●強盜被捉 昨聞埠民傳云東鄉居民李姓者年逾五旬僅有一子將弱冠世爲農家年作苦工而家貧無度前日値有喜事自已無力營辦乃向鄉里借得衣物兩袱包括父子分荷來向本埠典舖質當錢文以爲喜筵之需詎至韓家學房西北突由禾黍叢中躍出一盜軀若黑熊持一長大七孔撅槍截脅兇嚇竟將該包括幷銅錢若干全數搜刼斜逕遁去李父子然若喪至賈家屯村頭適有花會賭局因多好事少年聚彼談笑李父子向訴原委衆欲操械群往追尋正會議間詎該盜轉自東南迂道而來合包括幷荷肩上向前 獨行衆少年一聲喊喝操械齊迫盜見事敗轉向南奔猶恐爲衆所及急拋包括於途坌息疾遁不意脚滑蹶然顚踣被衆趕至亂棒交加幾致不能動轉李父子檢點衣物銅錢一毫未缺衆等搜其撅槍審視乃老敝不堪之器且僅一子母實其孔內他如皆空無所有次日乃將該盜送交於二道溝巡警營哨十聞董漢卿哨弁即解盜於蓋城聽候審辦云

●鷸蚌相持 近由蓋城所來人云該處巡警營總辦于君寶山與副辦李吾馘亭素困偏私互脅獎賞兩相攻訐遂致積不相能於是李具狀向新任馬公案前呈稟于數犯科條于亦具狀訴稟李屢干紀律彼此對訾究致兩傷縣尊澈底追查情皆不僞乃於前日牌示署前于李二人互相訟訐事跡具有可證二人營職幷行斥革候堂質審于前總辦所轄巡警一切事宜着右堂程代爲攝辦或曰于李二人蓋若鷸蚌相持竟使漁人得利聞該營現下總局前省買姓等哨弁現已全行告退今下僅有一高星閣弁員尙帶步隊云

價市の物
豆粕 豆油 麥粉 太米
四、三 一、二五
馬狗 大狗頭 艶馬 眞龍相連 仝仝仝仝
四、〇〇一五 四、〇〇一 四、〇〇八五
鐵馬 紅毛 劉海 老船 仝仝仝仝
九七、〇〇七 九二、〇〇〇 八〇、〇〇五 七九、〇〇五

東京 爲換相場（正金銀行）
票 仝 一七、〇〇八 一七、〇〇七
上海向 天津向 一〇三、六二五
本日の一兩は票一圓卅九錢一厘
軍票一圓……金一圓二錢

料理 前南江入る 局
東青堀手橋南 淡谷木局

昨日の氣温
最高温度八十三度八 最低温度六十九度三
昨年より 低五度四 高三度六

日本郵便局受拂軍票相場
金一百圓に付 一百二圓

日本品最近物價表 加藤洋行

元祿綢シャツ 八十錢
ヘルメット帽子 二圓五十錢
縞セル鳥打帽 一圓七十錢
セル地シャーマン帽 二圓
經木女學生飾付帽 一圓三十錢
皮製寢臺布團 二十圓
梅酒澤龜四入 十七圓
東京澤庵 五圓五十錢
末林奈良漬半樽 九圓
筍鑵詰三十個入 七圓
松茸全四打入 十一圓
極上鮑全 十七圓
神濟大五打入 十五圓五十錢
全小十打入 十一圓半
喜撰新茶半斤入 全
玉露全小半斤入 全
トランク 大原洋行 中 二圓五十錢 四十錢 二十五錢 五十錢 十三圓より

杉 四分板 六分板 八分板
營口材木商組合
一圓二十五錢以上 一圓五十錢以上 二圓以上
中貫 上 並
押角長二間 自三寸至八寸 九寸以上全
二十八錢 二十二錢 六錢五厘 九錢

營口旅館料理店案内 いろは順

旅館 料理 元神廟街九十六號 第一樓 (營口ホテル)

料理 永世街百八十三號 入船亭 谷初次郎

料理 營口永世街 一力 店主 堀万助

旅館 河岸通り 日營ホテル 店主 井上源吉

料理 永世街八十六號 東京館 店主 村上京四郎

旅館 營口新市場前(電話一七六番、四四番) 東京樓 店主 熊田兼次郎

旅館 西北街百七十三號正金銀行西三丁程 東茂旅館

料理 元神廟街百三十三號 千鳥 店主 吉住善藏

料理 永世街百六十四號 沖の嶋 店主 中川彌三郎

料理 並に氷いろ〳〵 營口元神廟街 翁亭 店主 長谷川金次郎

料理 永世街八十六號 吉野亭 店主 坪田正好

旅館 西北街(電話一四五番) 高砂ホテル 店主 引山小みつ

料理 營口元神廟街 樂々亭 店主 武部貞

旅館 永世街三十四號(電話十一番) 大和館 店主 前田九一郎

料理 豊濟門街第百〇四番 萬梅 店主 島田彌助

料理 永世街字二本町 まんなをし 店主 和田常松

和洋料理 南永世街 公樂園

料理 營口平野町 喜樂亭

料理 平野町 都樓 店主 阪本ちか

旅館 永世街七號 東雲旅館 店主 谷口今朝太郎

旅館 營口永世街一六號 品川館

和洋料理 營口元神廟街一一三四 松月亭 店和 末松信太郎

料理旅館 永世街百二十七 醉花園 澁谷旅館 占主 澁田留吉

奉天旅館料理屋案内

商人御定宿 奉天小西關大街北側 瑞豐館 館主 河野嘉吉(電話□)

會席御料理 高等御旅館 温泉付大勉強キレーデチイシヒ 奉天小西關大街南側 天神樓(電話□)

旅館料理店 奉天小西關大路北 日清館 館主 入江熊男(電話□)

奉天兵站部指定旅館 奉天小西門外大街路北 茂林館(電話二十五番)

御旅館 瀋陽館

御定宿 奉天小西關第五分局八一〇 第二東京館 館主 松田平四郎
今回弊館組織に大改良を加へ清潔閑靜を主として旅館營業に單ら御客樣の御便利を計り内湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館 御料理 奉天城内灰市街東華門宮殿東側 梅松館 館主 押尾富次郎(電話號)
今回弊館座敷増築の上清潔廉價を旨とし川魚鰌井鮓蒲燒)等をも新調且つ仕出等致し御中喰には至極御便利に御取計ひ可仕候多少に不係御用命の程偏に奉願候

和洋高等御料理 遼陽城内東街一八九號 遼東館 電話 號

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般
營口ブツシ定商會門東街 喜川鐵工所

和洋會席 御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉強仕候
營口永世街二本町 日本館(電話百三十)
各位樣

御旅館 和洋御料理 奉天軍政署指定旅館 奉天城内鐘樓南大街 奉天館(電話十四番)

日清倶樂部 奉天城内大南門裡大街(電話十五番)
麵麭製造 西洋洗濯 靴製造 日本大工 理髪 裁縫
氷卸小賣所

御料理 雜貨 遼陽城内西街 盛進館 井川商會 店主 北ツネ

料理店旅館擴張廣告

四方各位益々御清榮被爲入奉大賀候陳者弊店儀曩に滿洲樞要の都府に當る當奉天小西門外什字街に料理店旅館開業仕候處大方紳士縉商諸彦の御引立を蒙り日に増し盛大を來たし從つて家屋手狹まを感じ候に付今般廣く業務を擴張し更に本店を當府小西關新大街衝に設け以て專門の料理店となし日本式ナル宴會(百人迄の設備有之候並)に歌舞藝に適する樣大廣間落成致し候に付き此際本支店共奮つて一大改良を施こし親切叮嚀を御牛と清潔とを主とし精々勉強廉價に相務め可申候間御一層之御愛顧御引立の程伏而奉冀上候 敬白
追而料理店旅館の位置は奉天小西門より約二丁西方に當り市街輕便鐵道を中心として旅館は西方へ約一丁餘料理店は北方へ約三丁有之候間御來臨之節は路上の目標に御注目被成下度特に願上候

奉天小西關新街々 御料理 本店 金城館(電話十九)
奉天小西門街大什字街 御旅館 金城ホテル(電話一〇)
營口永世街 御料理 支店 金城館(電話八三)
營口永世街 御旅館 支店 金城ホテル
大連市吉野町 御料理 支店 金城館
大連市吉野町 御旅館 支店 金城館

有
土木建築請負 遼陽城内西街
煉瓦製造販賣 有馬組遼陽出張所
雜貨卸小賣
主任 海南右門

滿韓境上唯一樂園 五龍背温泉

安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半
温泉場ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁
眺望絶佳今ヤ新緑滴タルノ下清流掬スベキノ仙境タリ
當温泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ
効能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂麻質斯、黴毒、癩病等ニ特効アリ

營口唯一西洋式のホテルにて宿泊料は極廉なり
酒部屋及玉臺理髪所の設備あり
食堂の外休憩所及應接室あり御會談に適せり
大集會御人數百名位の設備あり
遼河々岸 牛莊ホテル
アイスクリーム等の多少に拘らず御求めに應ず
高雅にして見はらし最良の景色に富めり
開業の披露として料理切手一千枚限り發賣す
第一等二圓第二等一圓五十錢第三等一圓

遼陽州官設醫院告條

一凡請診治到院掛號須在上午自八點鐘起至十一點鐘止藥資例取銀隨意
一若有愿繳免藥資者須在下午到院掛號自一點鐘起至三點鐘止
一特邀醫官於其家者另繳規資一元以上但在下午三點鐘以後
一欲求診斷證明諸單及處方箋另付規費
一毎逢慶節及禮拜日一概休辦

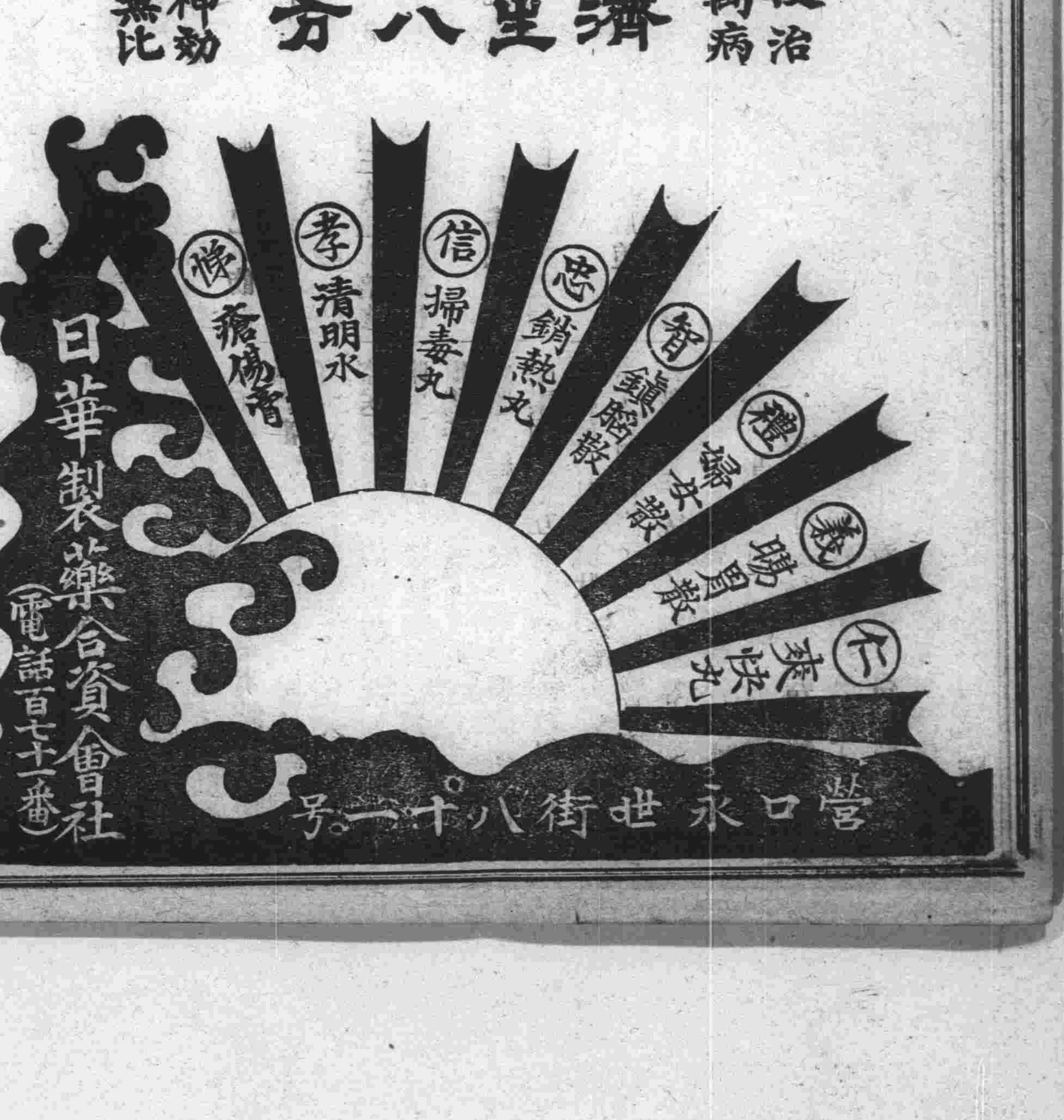
石材 石灰 大販賣 (營口西北街) 英治洋行 (電話三二)

自造 煉瓦 瓦 並に各種石材販賣 營口青堆子 加州組 (電話八十六番)

齒科治療廣告

啓者本醫士現將已前治療室從新改築寛敞幽雅俾期與治患之人一般便利而且應症活治療妥善有齒牙之患者幸早惠臨試驗方知本醫士之言不謬也
遼陽西街六十九號 齒科醫士 德平盛剛

軍隊用雜貨 日用品雜貨 食料品種々 舶來品類
其外新荷着舶來品精々大勉强販賣
遼陽西門外筋 北原洋行



工 營口元神廟 飯塚商材料部 (電話百三十五番)
弊局土木建築材料品の各産地より特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石
一日本石炭數種

上海 中井洋行 專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠訂有專銷之約凡有西紙料印書籍各式紙料莊票包棉紗草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也 中井洋行

金弁洋行
盛進商行

一杉丸太長一丈より五間迄末口一寸以上八寸迄各種
一杉樅栂松板類各種
一大小押角挽角小割各種
右廉價販賣
營口永世街 喜久洋行 (電話一五二)

第參種郵便物認可 明治三十八年十月二十六日

明治三十九年八月十一日 土曜日 光緒三十二年六月二十二日 滿洲日報第三百五號 (一)

列車發着

滿洲日報

本紙代價
一枚 金四錢
一ヶ月前金 八十錢
郵税無料

廣告料
五號活字十九字詰一行 一回二十錢
四號活字十四字詰一行 一回三十錢
二號活字九字詰一行 一回四十錢

本報價目
一張 四分
一月 八角
半年 四元八角
全年 九元六角

告白例
一行五號十九字
一日者每行二角登十日者每行一角五分登一月者每月每行一角登長年者價目面議

清國營口中盛街(電話二九番) 滿洲日報社

特別廣告

廣告

刻間軍政署電話局欲添募清國人能任交換電話之人有願充斯選者限年在十六歲以上至廿五歲爲度須有高等小學畢業程度且視聽力均須敏捷方不至貽誤事機如有合意之人請自書寫志願書及履歴冊携帶赴局以便試驗定募可也此佈

明治三十九年八月

營口軍政署電話局示

日本郵船株式會社 瀛船出帆廣告

大連出帆

●營口丸 十六日午前 大沽、芝罘、門司神戸行

乗船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ

營口代理店 旗昌洋行(電話二六番)

大阪商船株式會社 營口汽船出帆廣告

●盛航丸 八月一十日 入港

代理店 東營口公園地横(電話二十三番) ブツレユ兄弟商會 遠來洋行

瀛船出帆廣告

●賴朝丸 十一日午後出帆 大連、門司、神戸行

松茂洋行船舶部 海岸東税關西 電話(五二五七)

朝日ビール、石炭、白鹿(日本酒)白糖、木材等類各貨物美價廉如蒙各商光顧請駕臨

松茂洋行商品部(電話五二一番)

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓

横濱正金銀行牛莊支店

(電話十番支配人室百八番事務室)

本支店出張所
横濱 神戸 東京 長崎 大阪
倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 漢口 天津
北京 大連 旅順 奉天 遼陽
芝罘 鐵嶺 安東縣

一小口當座預金(零碎暫存款) 抜年五分一厘 日歩一錢四厘
一送金爲換取組先(滙兌) 東京、横濱、大阪、神戸長崎 上海天津の横濱正金銀行本支店
一貸附金(放利) 一般財産並に土地建物の管理を引受くること 不動産抵當貸附金の委託を引受くると
一附帶ノ業務

軍政署認可

正隆銀行

營業項目

一定期預金(長期存款) 三ヶ月 五分 六ヶ月抜年五分五厘 一ヶ年 六分
一當座預金(暫存款) 抜年 四分五厘 日歩 一錢二厘三毛

今般受入の幣は軍票及正金一覽拂手形は勿論墨銀小銀貨に至る迄精々御都合宜敷様可相働候間近々の內過爐銀の取引をも開始可致候

營口西北街第二百三十號(日本人會西隣) 支配人 深水十八(電話二百十番)

♣宅洋行

啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞子絨布手巾花巾洋胰火柴鐘表等類價値格外克己並且貨眞價實以致敝行名譽日增茲蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便貨客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽款待周群俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧曷勝榮幸之至 總司理人 田中賴之助謹白

開設老爺閣街同盛德院內 電話(店一八三番 住所五五番)

♣東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉絲布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並匯兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 萬貴客賜顧請到小號面議是有 總司理人 葉亮卿謹白

♣東永茂

機器油房在營口創辦油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之 正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

♣西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外 士商賜顧者請認明招牌決不致悞 本主人敬啓

♣仁裕號

係裝運各幇火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此僅 營口西大廟街路北警乙第十三號

♣永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家綿自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議 營口北街東櫃(電話九十五番) 西義順棧內西櫃(電話九十八番)

SP 糸平公司

本舗在大阪開業以來一百餘年今特於本埠開設支店所有發賣物品皆美價廉如蒙中外士商賜顧請至本行購買可也今將自製布類列下東洋各色絨布毯子各式被面各色布疋各種綢布其他一切織物概行發賣並特約販賣(正日光)皮酒價及各様雜貨尤廉減特此廣告 朝日ビール特約大販賣 營口元神廟街神廟南邊路西(電話百九十二号)

三井

電話 第六十六号 第九十一号

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部經理

今回倉庫所在地(高堆子精搗場上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候(電話百二十八号)

○明治火險公司

本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米

○東京水險公司

啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

三井洋行啓

啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨匯集資本浩繁有保險以維持之可以有特無恐法至良意至美也小行經理明治火險日本火險公司已歷多年幸蒙中外所信用前有王鹿芹 郭漁笙 朱斐章先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦諸貴商所樂聞乎如蒙賜顧請逕至大德亭內面議可也

營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於天數客惜保費孰知一遇不測非但數十年老業難繼即十萬金之貨一家東本數萬金常存數般實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉 僕等承三井洋行謬愛囑爲代理明治火險公司保險各事 僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克己諸公賜顧請 駕臨大德亭內面議不誤

王鹿芹 朱斐章 郭漁笙 仝啓

洋行 電話 第六十六号 第九十一号

●印判彫刻 ●ゴム印 ●活版名刺 ●各色印肉インキ附屬品一式

今般位の御引立に依り日に月に隆盛に趣き候段奉謝候今回技術精好なる職工數名雇着候に付分店設立と同時に一層勤勉を以て期日正確價格低廉貴需に應ず可く候間多少に不拘御下命被下度候 御報知次第店員參上仕候

刻字舖 尾崎洋行 營口永世街三十七号

尾崎洋行分店 奉天小西關大街二七八号南側

東省巡航公司業務廣告

本公司は牛家屯東税關西税關河北間に小蒸瀛船ホーチン號を往復せしめ牛家屯河北停車場發着列車の連絡を取り旅客の迎送をなす

本公司は牛家屯營口河北間貨物の運搬及迎船の依頼に應す

御用の節は電話二百三十六番へ御一報煩し度候

本公司乘船場は牛家屯停車場前棧橋河北停車場前棧橋東税關棧橋西税關東部にあり切符發賣所は各乘船場及船中にて發賣す

賃銀

自＼至	河北	西税關	東税關
牛家屯	三十錢	三十錢	二十錢
東税關	二十錢	二十錢	
西税關	十錢		

數回切符は特に割引可致候

列車連絡時間表(日本時間)

東税關午前五時發 牛家屯六時三十五分發列車に連絡
全午前六時發 河北七時發列車に連絡す
東税關午後七時四十分發 牛家屯發九時三十五分の列車に連絡
牛家屯午前九時四十分發 牛家屯九時十分着の旅客を迎ふ
牛家屯午後八時發 營口牛家屯間通勤諸士の營口歸りの便を計る
河北午後六時發 河北五時四十分の旅客を迎ふ

東省巡航公司 營口元神廟街第五十五號 電話番號二百三十六番 謹白

洋鐵鋼

麥粉、白糖、白米、玻璃板、亞鉛板、鐵線、洋釘類、建築土工用具及船具類 其他諸機械ノ製作修繕

合資會社秋田商會支店 安東縣市場通七丁目

合資會社秋田商會支店 安東縣東大街

牙大夫學士兒島醫院

DENTIST. Dr. S. KOJIMA.

大日本齒科醫會部長 日本齒科學會評議員 ●營口元神廟街●

告白

啓者本院主從來於森醫院齒牙科治療從事近時感其狹隘因別卜居於院内特設諸器械完備無遺專足於救治牙疼之術鑲齒金銀充塡補缺落齒補入妙技矣齒牙疾患者希咀嚼必要欲皓齒金光燦爛美良者速來方知本院主神秘妙技焉 執事

注意 ○語曰齒全壽長●來訪者兒島二字要

♣志岐組

本組開設營口經定門外專辦架造房屋及做工之事自今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價値格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組格外名譽其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸 本主人謹白

周 鐵道遼河 裕和盛運輸局

(電話八十一号) 在東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本号向在日本長崎開設數十年開店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順煙臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨各車站均設分局格外周到不悞主顧 總理主人 周鶴雲 運輸部主任 高濱麟太郎 謹啓

徽州 怡昌祥茶號

本號專在徽州黃山採辦三十六峰雲霧仙品名茶色香味與衆不同焙工棟焙重賚徽郡珠蘭不惜資本以圖久遠凡貴商大寶號賜顧者請認明本号黃山圖記庶不致誤 怡昌祥主人謹白 寓營口恆利德

日本官造紙煙專售告白

本號現開設在大連、安東縣、營口、遼陽、奉天、鐵嶺、等處專售日本官造紙煙朝日(紅旭牌)大和(雲花牌)敷島(蓬島牌)媧嗎咧(軍旗牌)逢佑來福(雙仙鶴牌)利利(百合花牌)捷利(櫻花牌)斯達(星象牌)哥耳大巴德(蝙蝠牌)等九種及煙絲各様

東營口西北街(舊代代木公司) 日本官煙營口專賣處

丸重轉運行

啓者本行前經關東總督之特准開辦東清鐵道轉運行專代客裝運貨物安全速達價亦格外公道以致名聲日增今又各車站設均分莊運輸決無誤如蒙貴商光顧請面是議荷

營口西北街(電話八十號) 牛家屯車站(電話四十六號)

既設分局 遼陽、奉天、昌圖各車站

關東玻璃公司

本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉光顧者請至營口永世街 第五號門牌便是

志岐組木料棧 材料出售

啓者本棧開設鎮口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價値格外從廉克己凡中外士商光面議顧請到本棧

●銃砲火藥販賣業

本行蒙官允准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈等件物美價廉需者發售如蒙中外紳商賜顧者請到本行面議可也

官許商 秀淸洋行 鐵嶺東門大街

齒科治療廣告

啓者本醫士現將已前之療室從新改築寬敞幽雅俾期與治患之人一般便利而且應症活治療妥善有齒牙之患者幸早惠臨試驗方知本醫士之言不謬也

齒科醫士 德平盛剛 遼陽西街六十九號

東京電報

●我漁民殺戮に遇ふ（九日發電） アラスカ附近ベーリング海峡アリウシャン群島に於て日本漁業民の多數米國人に殺戮せられたり原因は漁業上の爭ひならんと華盛頓より電報ありたり

●三笠浮揚祝電（同上） 三笠浮揚に付齋藤海相及び東郷大將より長文の祝電を佐世保鎭守府司令長官に送くれり又目下舞鶴停泊中のムーア中將より海相に宛て祝電を送くり來れり

●侍從武官差遣（同上） 三笠浮揚の報天聽に達せるを以て特に宮中より軍艦三笠へ侍從武官を差遣せらる

●俸給料制限解除（同上） 下級判任官俸給料制限解除の勅令出でたり

●論功行賞發表（同上） 奥參謀總長は檢閲使を免せられ野津元帥之に代はる

●世界大會と末松男（同上） 米國カーチギー會は來春世界大會を催すに付末松男の來會を請ひ來れり

●後藤男の滯京（同上） 後藤男は尚數日滯京の筈なり

北京電報

●盖平の漁業會社（八日發電） 奉天將軍は盖平附近に漁業會社を設社し日本と漁業區域を確定せんとて外務部に電請したり

雜報

●新艦筑波の戰鬪力 呉軍港に於て竹内大佐監督の下に艤裝工事中なる新造裝甲巡洋艦筑波は日露戰爭の教訓に依り艦内裝置に大改良を加へ從來の甲裝巡洋艦とは大に其構造を異にし武裝の點に於ても亦大砲の配置其他に就ても充分の改善を施しあれは其戰鬪力に至りては現在戰鬪艦に比し遙かに優勢なりと而して艤裝工事も昨今大に捗取りたるを以て來る十一月頃には全部竣成を告ぐる由

●日米直通電信開始 日米間直通電信は愈よ八月一日より開始せられたり從來の日米間電報は長崎、上海、香港、馬尼剌、グワム、ミツドウエー、ホノル丶、桑港の八仲繼所を經由せざるべからざりしも今回の直通電線は唯グワム、ミツドエー、ホノル丶、桑港の四仲繼所を經由するに過ぎざれば其時間に於て約半減の利益あるのみならず亦料金に就てもグワム、ホノル丶、ミツドウエーとの區間は從前に比し左の如き低減を行はれたる次第にて同電信は午前六時より午後十時迄の間江戸橋郵便局に於て取扱はるべく時間外の至急電報は他の電報に於けるが如く三倍の料金を徴さるべし

	舊料金	新料金	差引減
グワム間	一圓六十四錢	一圓十四錢	五十錢
ミツトウエー間	二圓六十四錢	一圓九十二錢	七十二錢
ホノル丶間	二圓十四錢	一圓四十二錢	七十二錢

右の外上海線に比し北米各地方宛は凡て四十錢を中米及南米宛は凡て三十四錢乃至四十錢を低減せられたるなり

●商事民事の兼營 商事會社は民事を兼業するを得ずとは從來裁判所に於ける見解なりしを以て鑛業會社の設立に際し石炭の採掘、販賣及運輸を目的とせんとするも採掘販賣は民事に屬し、運輸は商事に屬するにより則ち商事と民事とを兼業するものなりとの故を以て申請を拒絶されしが去月三十日司法省民刑局長より農商務省鑛山局長に對して商事會社は民事の業務を兼ぬるを得ると決定したる旨通知ありたりと云ふ右に付近來の問題たる鑛業會社、商事兼營の件も全く解決せらる丶に至りたれば當事者は大に便宜を感ずべしと

●外人の對淸商略 聞く所に依れは此日和蘭陀貿易商會は北淸と自巳の殖民地ジヤバ間の貿易を盛かんならしむる目的を以て淸國の富豪及紳商の來遊謀査を求むるか爲め天津上海香港の各地より僅少の船賃を以て特に上等の待遇を與へ復航は無賃にて送り回す旨を天津道臺に申込みたる由時節柄商界の木鐸たる感なき能はす我國も滿洲紳士に向つて多少の刺撃を與へられん事を切に望む次第なり

●滿鐵會社設立彙報 ▲設立費 滿鐵會社設立迄の經費は雜給、廣告費等約一万八千餘圓にて第二豫備金より支出せらるへし▲事務員 設立事務處理に官民より任用さるへき事務員三三十名中先づ遞信省より鐵道局員六七名 經理局員二三名任用の筈にて二三日中に人名を決定すべし但し民間より任用の分は株式募集に際し之を任用すへき筈▲委員總會 來る十日委員總會を開き寺内委員長政府の調査計畫を報告し而して各種事項の決議を爲す由

●遼陽州學政一斑 遼陽城内東二道街東端城壁の下にある宏壯無比の家屋は遼陽州唯一の教育機關たる官立師範學堂にして且つ遼陽州學政の中央機關なる教育施政の淵源たる所なり故に遼陽州に於ける學政は此師範學堂に由り消長弛廢の關係を有するものたらさるへからす之を聞くに往年遼陽に於ける教育制度は頗る不完全を極め淸國内地の夫れよりも一層甚しきものありしか一昨年我軍の占領後我政府は鋭意諸般の設備を施すに當り淸國官憲に促すに教育制度の大刷新と學政の振興とを以てしたるが時の知州沈金鑑氏（今は新民府にあり）學堂創設の意ありしかは奮つて其經營の任に當り客年八月始めて文明的師範學堂創設せられぬ而して教務長として犬飼大助氏を招聘し昨年十月盡日を以て開校式を擧行し學生高等小學生を併せ六十名を収容し現時に及へるものなるか此營繕工費一万圓書籍費五千圓を投入したるなりといへは一州の經營として而かも因循姑息なる淸國官憲の常態に比し破天荒の事たらすんはあらず尚當時學堂生徒の第一次入學試驗に應するもの無慮五百餘の多きに達したるを想へは新教育に渴仰する風潮を窺知するに難からす之れを要するに開校以來成績は意想外以上に出て彼の洋書の如き特に卓出し殆と淸國學生の手に成りたるものと信し難く昨今巡遊學生の同校を訪ふものは是に一驚を喫しおれり這に唯一端にして學科孰れも豫想以上に進み其教育程度を低からす之を或る同學堂學生より聞くに奉天優級師範學堂（所謂高等師範學生）入學試驗に應するもの遼陽師範學堂より十四名此の内四名は放棄し十名は悉く及第し學科又豫想に反して平易なりしと語り居れりと惟ふに開校數個月尚二年餘の學期を餘して尚且つ斯の如きは當局者の勞多とせさるへからす而して現今州内尋常小學堂四十個の教育者は同師範學堂講習生に係り是迄二回修業を了へたるものにして其科目は教育、博物、体操、圖書、地理、算術の必須的科目に屬するものなるか尚速成的講習生を募集し追時新教育を注入し漸次に書房的（寺小屋同樣）不完全なる組織を改善する方針なりと聞く想ふに師範學生の同學堂を卒業する三年後同州内の教育界は大に舊態を打破し面目を改むるに至るへきかと云ふ（綠城）

●趙將軍と萩原總領事（東陵參拜） 趙奉天將軍と萩原總領事とは去る七日を以て各其屬僚を從へて東陵に參拜せられたり一行は護衛兵其他七十餘名皆騎馬にて午前八時府門を出發し途すから先づ農事試驗所に立寄り主任技師に就て農事に關する種々なる談話を聞きそれより東陵に向ふに高梁の高く人影を沒するを以て只人馬の音のみなるを附近の支那人等は馬賊の襲擊にやと騒きたるも可笑しかりき正午東陵に到着し暫時休息の後先づ將軍は大宗高皇帝の廟前に進み手づから廟扉を開かれ一同と共に禮拜をなし終りて豫め携へ來れる酒肴を開き廟前の宴を催したり宴酣にして我隨員の長尾氏山腹に咲き亂れたる桔梗の花を手折り來りて一同の胸に飾し以後はこれを基として桔梗會を組織し日淸親睦の實を上ぐへしと發意せるに一同は非常に其催を贊し每月一回つゝ開會せんと異議なく決したる等花に話の咲き亂れて一層の興增したる時紀念撮影あり將軍と領事とは互に手を組み合いて撮影し一同の話の種となれりかくて一同歡を盡し廟前を辭したるは夕陽西山に沒せんとせる頃なりき歸途一同は領事館に入り領事の催しにかゝる晩餐の宴に列したり

●長春以北の外國商品 最近奉天に歸來せる某の言によれは目下露國、浦鹽港等よりハルピンを經て吉林、長春附近に輸入する露、米、獨等の外國商品の夥多なるは非常なるもの丶由なるか是れ等は畢竟、大連營口に對する浦鹽港の繁榮策として露國運動の結果なりと見るへきも一つは東淸鐵道にて運搬するよし運賃の安さと積替等の煩はしき手數なく、又税關の設けなきを奇貨とせる外國商人の手段にて此のまゝ經過しては由々しき大事を惹起すもの、我當局者は勿論、實業家は大いに注目すへき問題なるへし

●六十一聯隊軍旗祭參列記（下）

▲宴會場 午後六時半第二號鐘により將校集會所中庭に設けられたる宴會場に入る即ち軍隊式に築成せる長方形の急造バラックに在り卓子を縦に驕ぶると三列佳肴美酒其上に在り校書杯盤の間に周旋し傍ら又地上にアンペラを敷き藝妓手踊の場と爲し以て興を助く用意の周到以て見るべし▲聯隊長の挨拶 席定まるや三上聯隊長簡短に同聯隊成立以來の經過を説き昨年七月廿七日同聯隊の編成せられ越ゑて八月八日即ち去年本月本日宮中に於て軍旗を親授せさせ給ひしを以て特に本日を定めて記念日と爲したることを述べ且つ將校集會所の修築成れるを以て此に一同を請待するに至れる次第を陳して來賓の好意を謝し遂に同聯隊長の音頭にて陛下の萬歲を三唱し一同之に和す▲旅團長の答辭 三上聯隊長の挨拶終るや渡邊少將來賓一同に代りて答辭を述べ同聯隊の編成が戰役の終末に在りて戰鬪に參加することを得ざりしは深く遺憾に堪へずと雖ども滿洲守備の任の決して之に讓らざるを說き且つ吾人が挺身何時義勇奉公の時機の到達せざるとも限らざるの用意あらんことを希望し第六十一聯隊の爲めに萬歲を三唱せり▲當日の來賓 無慮百名と注せらる其重なる人々は營口の來賓を外にして渡邊旅團長あり前鐵嶺軍政官樋口中佐亦前任地を辭して都督府に赴くの途次を以て參列するあり第十六師團副官吉田少佐も遼陽より旅順に赴くの途すがら亦賓客中の一人と爲る▲平和の捕虜 既にして宴益々酣にして漏漸く移つる營口の參列者は八時の滊車を以て辭し歸らんとす聯隊長懇留可かず辭意殊に懇勤且つ東京にても滿洲にても聽く能はざる淨瑠璃の名手あれば切に次列車を俟ちて歸るべきを勸める與倉軍政官、堀越憲兵長等公務の故を以て辛うじて虎口を脫せりと雖も好意拒むべからず予等遂に聯隊長の名譽ある平和の捕虜と爲り了んぬ▲淨瑠璃 名譽ある平和の捕虜たる予等は聯隊長に導かれて將校集會所なる淨瑠璃場に入るト見る洋服がけの一男四十前後なるべし既に高座に上り三味を膝にし撥を執りを手れ予素來聲曲を解せずと雖も其一急一緩妙音朗々として何事をか語り出でつゝあるに一高一低喨々節に合する所以て其巧手を見るに足る聞く此大夫嘗て大坂文樂座に在りし盛名を一時に馳せしも今故あり大石橋に在り日本人會の會務に鞅掌すと惜むらくは姓氏を逸す▲演劇 既に淨瑠璃を聽き又導かれて劇を六十一座に觀る即ち聯隊有志の素人芝居なり藝題は二人辯護士法廷の爆發にして予の觀たるは恰も第二幕花月樓の場及び第三幕吉野又平宅の場なり演者皆巧手、技孰れも神に入らざる無きが中にも花月樓の女辯護士吉野又平宅の又雄特に生動出色を覺えたり予生れて未だ嘗て日本演劇なるものを見ず今日圖らず聯隊長の俘と爲り意外の御馳走に預かる予れに於ては稍々精進落しの感無きにあらざるも主人聯隊長の好意は殊に感謝に堪へたりと爲す▲多士濟々 由來大石橋第六十一聯隊は異能の士の集まる所翅に其劇を觀て多士濟々を知れるのみならず各中隊兵士の丹青に成れる造り物の如き亦其手腕の尋常に非ざるを知るに足る就中田原藤太秀郷の故事、瀬多の片橋（唐橋）及び木族館の如き技巧殆ど天工を奪ふ聞く這次軍旗祭に於ける大石橋日本人會亦大に盡瘁する所あり本日の盛況を見るもの實に與りて其力を大なりと爲す▲歸途 演劇興未だ盡きず刻將に發車に逼らんとするを以て聯隊長官舍に於て晚餐の饗を受け十一時半の滊車に搭じ月下夢を載せて牛家屯に抵り遂に軍政署の汽艇に乘じて東和關波止場に上岸し東西袂を分てるは期滿放免俘虜賓客瀨川領事、四本大尉、黒澤副税務司なり（一記者）

●渡邊少將の賜暇歸朝 在大石橋なる步兵第三十一旅團長渡邊少將には戰後未た賜暇を得ず引續き現任地へ蒞任せられし所今回始めて賜暇を得十五日頃出發一時歸朝の途に上らるへしといふ

●遼陽禁酒會例會 來る十五日（水曜）午後八時より遼陽基督教靑年會に於て例會の筈なるか當日は工兵第十六大隊中村一等軍醫の「禁酒に就ての」講話ありて一般人民の聽講を許すといふ因に同會は去る五日臨時相談會を開きて每月第一日曜には軍人のため奬勵會を開き第三水曜午後八時よりは例會を開き續き親睦會を催すてと丶なせり殊に軍人には特別優遇を以て將校下士を除くの外會費を要せずして東京禁酒會雜誌「國の光」をも配付すといふ

●大連七月の彩票 慾に目のない連中の待ちに待ちたる七月發行の大連彩票の

●昨日の修學々生 昨日の修學旅行者左の如し

茨城縣各學校	職員一四	生徒六三
石川縣各學校	職員一九	生徒六二
愛媛德島各學校	職員一四	生徒六九

●本願寺の追悼會 元神廟街本願寺出張所に於ては來る十三日夕刻より同所に安置せる牛骨（またの名、半平）平井半次郎氏の遺骨に對し友人等相會し初七日追悼會を催す由

●滊船彙報

▲昨日當港現在碇泊の內外滊船は左の如し
滊船北平號 住吉丸 賴朝丸 海口號 芝罘號 牛莊號 新康號 ヴェンチャオ號外に外國船二艘あり
▲滊船新康及び海口號の上海より齎らしたる荷物は綿五百噸麥粉約五千餘古鐵材四百噸外穀物雜貨取合せ千噸餘なりと

●一往一來

▲三浦軍醫 二等軍醫三浦貫ホ氏は一昨日來營營口ホテルに投宿せり
▲小林大尉 第十四師團附砲兵大尉小林文郞氏は今回賜暇を得たるを以て過日來營金城館に滯在中
▲河本中尉 過日來滯營中の所一昨日安東縣に向ひ出發せり
▲秀島理事 軍政署附なる同理事は今回暑中休暇を得本日出發歸朝の途に就げるか本月中に歸營の筈

商況

▲雜貨類 雜貨の賣口は本年解氷當時より好景氣の趣きにて花客は支那人五分、日本人五分の有樣而して賣れる品は必ずしも夏の物に限らす冬物と云はす重もに室內裝飾品等にして目下吉林の商人抔が仕入れに來り居り不論等の賣れ口も可なりある由
▲藥物類 藥物類は支那人か非常に嗜む所にして年々芝罘邊りより輸入する額少なからす大略の統計に依れは一日の賣れ高四千圓內外にして西瓜、桃、林檎等尤も多き由なるも目下日本人の從事せるものは少なし
▲硝子類 硝子類は滿洲に尤も望みある貨物なるが目下の所差したる變化もなく賣品の重なるものはホヤ蠅取等なりと

●一外人の談片 記者一日去る外人を訪ふた所左の如き咄しをした▲先日來白人の浪人者が十四五人も入り込んで來て例のブンマワシ樣のものを始めて當局者も一時之れが取締りに困られた樣ですが是れ等は希臘やアルメニヤ伊太利人等ですが何處へ行つたか只今では一人か二人しか居りません皆顧山にさへ窮したと見えます彼等はもと大概天津や山海關あたりから這入り込んだ樣です▲東京樓の隣りのインターナショナルホテルでは近所の何者か判からん者に火を附けられ裏の物置にあつた五六百圓の品物を燒失したそうで色々軍政署の御役人が親切に取調べて異れられたそうですが一向犯人が判りません其の後も爆發藥を裝置して家を毀す樣にしてありましたのを主人のマリパートが見附けて除けましたそうです其の仕掛けはシガー（卷莨）の側に滿洲日報かの古新聞に飯粒の澤山附て居るのへ燃え付て爆發する樣になりて居ました主人は今でも人が行くと直く出して見せます日本人にはこんな惡いものはないでせうね？▲日本の紳士方がお出でになつて旅館へお泊りになると何處にも大概十四五人位お孃さんがお居でゝすから財布の錢は皆なくなつて仕舞ふあれは矢張りお孃さんの家と宿屋とを別けてある方がよいでしよう白人は大概廉い所で三圓で賄ひますから御都合がよければ少し泊つてやつて貰ひたいものですね一▲記者は汗顏に堪へなかつたから十一時に友人の葬式に行かねばならぬと云ふて大急ぎで御免を蒙つた

文苑

あけばの　蘆江

むらさきに雲ひろかれは人の世の聖と見ゆなり浪のあけばの
かゞなへてまたうら若さ我と思ひ甲斐なきものとまた思ふかな
夕立晴君跣足して岸に立ては青葉耶に風かほるなり
この浦にその河下のゆふまぐれ漲ぎりゆくよ雲のくれなゐ
君や來し宵霖惑の窓の外に傘打雨の音そぞろきく（營口にて）

日報俳壇

課題集句選 其三　野梅選

丶人の來て午睡の友となりに鳧　小僧
くもの峰田面に風の絶えし頃　同
○鳴やんで尿して蟬の立にけり　八州
○はね起て足をながむる午睡哉　同
新聞で顏掩ひつゝひる寐かな　同
◎雲の峰關八州は平野なる　同
雲の峰軒端の板の反りて見ゆ　雪氣
丶水かれて細る筧やせみの聲　同
蟬なくや死のおちし一ト搆ひ　同
午睡せし事のみしるす日記哉　同
丶木なき山水なき川やくもの峰　岳南生
丶三千里國をはなれて午睡かな　同

▲夏季雜題得るに從ひ掲く續々御投稿あれ
▲課題 蚊 涼 朝顏 八月末日迄本社編輯局俳壇宛に投御稿ありたし

營口重要貨物相場

穀物相場（五日）

		兩銀
靑豆	一石	六、〇七七
黄豆	全	六、〇九八
黑豆	全	六、〇〇

綿布相場

		兩銀
大鹿	一疋	四、〇四
巻狗頭	全	四、〇六五
翼馬	一疋	四、〇八
老人馬	全	四、〇六
金奎鼻布	全	六、〇〇
藍圓龍票布	全	五、〇五
九龍	一梱	七九、〇五
彩美人	全	七四、〇三
人担茶	全	七五、〇〇
紅竹	全	七四、〇五

內地向	兩銀
上海向	一〇一、七五
天津向	七一兩〇五
芝罘向	一〇三圓五〇

（軍票百圓）（銀百）

淡 本號開設營口東青堆子發賣栢木方料

自八日午後六時至九日午後六時

短篇小説
夏木立　ふみを
下之上

頑固な爺同士のいづれ劣らぬ我慢の心が高じ合つて一度は解けやうともしたけれど全くは解けやらず、ふとした言葉の行違ひから揶台ひまでもはじめた騒ぎ、口も心も、身体さへ荒々しいだけに思ひの外摑みあひがはげしく双方打傷摺傷を負て引取つた。まづそのまゝに兩家は義絶同様になつて一應収まりは収まつたが元より収まらぬは兩人が身の上、あれほどに樂しみにも思ひ合つても居つたのが思ひもかけぬ事から、六日は借措いて十年經ても、望みの綱は切れ果てた果敢なさ。もうやるせなくて〱寧身を捨てゝもなぞとさへ思はぬでもないけれど、親への義理に對して會ふとも憚る身なら、積る話は何としてお互に心でばかりくよ〱してゐる樣子の穗にあらはるれば、追に女親とて、見るに見かねて蓮の母親がまづ云ひだして松が母と相談の上、落付先をも、暮らしの事も、それ〱確と謀つて、爹親等の前へは駈落といふ事に裝つて、其中に爹親等の仲直りをさせやうと、恁ういふ心組、

日々毎日、兩母親は兩父親に調訂の法を講じてゐるけれども、どうしても機嫌がなほらぬ。といふのは、よく探れば眞の表面はかりの瘦我慢で底の心は、既に悴や娘の失踪以來、心の我意も子の愛には鈍つて、仲直りもしやう兩人を夫婦にもしてやらうと思ひ込んではゐるけれど、どちらもあまりまでしたことなればおいそれと自分の方から折れて出るわけには往かず、先方から云ひ出したら、先方から云ひ出したらと思ひ𤍠い事を云ひ合つて、年甲斐もなく摑み合思つて三月許を詮方なしの睨み合ひに空しく、さりとてはつまらなく暮したのである。

親々は自分達ばかりの我を張つてればそれで濟むとであらう。けれども好い災難は若い戀仲の兩人が身の上。何も云ひ出してなかつたら、まだしも只の仲好でさほど氣も遣はずに濟んだらうものを、慾なまなか夫婦にしてやらうと云はれてはどうやら味な氣が起きて日の過ぎるのは待ち遠く待ち遠く、漸うあと六日といふ處まで濟ぎつけて少は吻とした息も付いてゐるのを今度の騒ぎ、割つて見れば、眞につまらぬ事ながら弁顧樣といふ由々敷ものが挟つてゐるので一寸首もかたむけられる。母の情に人の家ながらも兩人一緒に暮すうれしさは有ながら、行末を考へるとどうなるとやら、母親は那麼はいふけれど一度いひ出したことは引かぬ親爺、殊には、あの喧嘩で互に怪我までもしたとなれば、それでさへ怨は充分に持てる、況して事柄が弁顧といふものまでも紛糾つて來てゐる事なり、この結果は難しかんべえと口にこそ出さね、互に思ふ心が折々の吐息にあらはれて、ある晩ほど近い野社の打茂つた木立の陰に二人が孰れからともなく語り出したのである

「あ、どうなる身の上だか……」

「ほんに、どうなるべえ」

考へれば分らなくなつて來る。

雜報

●海賊二名の死刑

頃來滿洲各地到る處海に陸に强賊出沒して良民に危害を加ふる事夥しきより當局官憲は之れが討伐に晝夜力を盡されつゝあるも彼等惡漢は巧に法網を晦まし倍々其暴威を逞しうするに至つて此實に悔みて倚餘あり、茲に所轄淸國奉天省海城縣庄臺現時營口子臺子居住張柱（廿四）なる惡漢は身に一定の職業なく常に馬賊となり或は海賊となりて良民を迫害するを以て唯一の職業となし現に昨年四月頃よりは陸上にての馬賊は其筋の取締嚴重なるを以て彼は海賊に變じ其年四月上旬海賊頭領梁喜鳳の手下に屬し部下の者二十餘人と共に二家溝附近海岸に繫留しありたる舢舨一隻を掠奪の上銃器を準備して之れに乘船し同所を出航し好き得物御座れと沖合に至りたる所計らず漁船二十餘隻に出合ひたれは彼等惡漢は直く梢拳銃に短刀に各々思ひ〱の兇器を提げ二十餘隻の漁船を取り圍み各船より一名宛合計二十餘名を自巳の船に抑留し漁船全体より銀三千餘圓を出金せしめて之れを釋放し張柱は其内二百五十圓の分配を受け又本年四月中前記梁喜鳳等二十餘名と共に同一方法を以て銀三万餘圓を掠奪し彼は三千七百圓の分配を受けたりと云ふ、尚又淸國同縣珠西田庄臺々前現時營口老爺廟東西胡同萬發長烟館苦力張德厚（卅三）は一昨年中海賊頭御陳老格達なる者の部下に屬し同人外八名と共に同年三月上旬田庄臺附近海岸に繫留しありたる二隻の舢舨を掠奪の上拳銃單連數種の銃數挺を用意して之に乘船し同所を去る海上約二百淸里の沖合に出航し同所に於て通航し來れる商船十餘隻を恐迫して其乘組員より合計二千二百圓を强奪し德厚は内二百餘圓の分配を受け再び營口或は五臺子村等に潜伏し居りたるを早くも我官憲に於て探知する所となり彼等惡漢共が何れも前記の個所に潜伏し居るを突き込め逮捕し嚴重なる取調を受けたる結果遂一白狀に及びたれは審理の末强盜罪に問ばれ昨日二人共死刑の宣告を受けたると同時に午後三時阜右門街墓地に於て藤井橋本兩憲兵の執刀にて今世より放逐せられたりとは實に氣味のよき事ならすや

●十間房の妖怪（奉天）

恐い〱と思へば薄の穗花も人影に見へ、提灯の火を人玉と見誤るなどは陳腐な文句なれど場所が場所ゆゑ閻魔の廳で刎ね付けられた露助の亡者か、夫れとも近頃の不景氣を苦にして其處此處に網を張る化粧の者か、いや過る日、ピストルでズドンとやつた武藏館の別嬪さんが未練を殘した男に會たさに迷ふて出るのであらふ、何にしても近よつて怪我するなと、とり〱の噂を小耳に挿んだ好事家の一人膽の太くなる哭證の酒一合に勇氣を附け、惡鬼羅刹の住居の如き小西邊門を出れば雜閙繊るが如き街衢も深として豚の子一疋通らばこそ、葉末を傳ふ凉風もなんとなく微温き心地せられ露も生血に染つた人影、朦朧として現はれそう、折柄鐘樓で突き出す鐘の餘音長く引きて冥府の人の囁きらしう其の物凄さ事譬へん方もなきに、何處よりか細き憐なる聲して『朧月の薄明り人かと思へば人でなし…………モーシ友造さん……』と切れ〱に聞ゆる牡丹燈籠の似聲に細き膽を拔かれ苦しい時の何とやら、慄ひ聲の念佛も其効なく却つて。五蘊空に歸すといへども、一念五百生、懸念無量劫、遺る怨に牽かされて姿を幻に現はす事古今に例多し。と述べ給ひし書間の說經を思ひ浮べては一時も堪へ得ず、進二無二驅け出せば木の根を蹴つてドウと倒る、痛ひ腰を撫る間もあらばこそ、又驅け出してとある物影に飛び入れば血に渴したる夜叉大手を披げて摑み掛る、キヤツト後は夢現……トロの轢る音に夢破られ、身邊を見廻し〱立ち上れは、ズラ〱と腰から膝へ斜に釋けた螺線体の帶に、バサリと音して落る空虛の財嚢、飛んだ妖怪談を聞く儘に

●曲馬の移轉

是迄西營口第五憲兵派遣所附近にて興行しつゝありたる松村社中の大曲馬は今度同所を打揚げ重盛街（本社より一丁程東）にて一昨今日より興行せりと去

●大阪相撲の番附

既記の如く手柄山行の大坂相撲は十二日より興行の筈に決定し種々準備の爲十三日を初日とする事に決定したるが其番附は左の如しと

	東	西
大關	手柄山	大江山
關脇	鶴ケ嶽	玉の森
小結	松ケ枝	猪王山
前頭	白藤	小松山
仝	鶴ケ森	鳴戸岩
仝	碇野	司天竜
仝	甲州山	鳳凰
張出	鷲ケ濱	照日山

（以上幕内）

幕下東	西
友碇	一の矢
八幡山	紀國山
綠松	大江潟
綾浪	明山
逹嵐	勝の海
いろは山	水雷
甲汐	夕暮
米山	天の川
若碇	增井川
虎勇	小勇

●軍艦觀覽者の便利

明十二日第二艦隊入港するに就て大東巡航公司は日淸人の軍艦を觀覽せんとするものゝ爲特に小蒸氣船を出し一人二十錢にて往來せしむへしと因みに仝純益金は之を擧けて艦隊歡迎會に寄附すと云ふ

流行

▲流行の帶留め　帶留めは從來流行つてあつた打緒はすたれて目下は金具付か流行つて夏向として相不變寶石入も受けがよいか普通のは曲玉、榛々、胡瓜、鮒、鯉等の金具か歡迎される、紐も絽又は鹽瀨の白つほきもの藍氣の勝ちしものか流行て價は四五圓寶石入は二十圓以上百圓まである

▲流行の貨幣入　貨幣入は色々變つたものかあるか、財布の大形のか餘程流行つて居る地は博多は幾分すたれ氣味て夏向きしては白縮緬に通な元祿模樣等を染出してあるので又繻珍のからの淡白なのも持て囃されて居る、又銀貨入としては皮製の半弓形に東郷大將等の肖像を内側に寫し出してあるの等で皮は極く柔かな樺色したのが賞美せらるゝ、價は財布の縮緬地で二圓内外から繻珍其他の三圓内外である銀貨入は普通一圓以上てある

投書かご

▲愛句生に傚て僕も駄句を作りたドーカ訂正して下さい「吾は今想出深き夏の月」「去歳の夜はわれ驚かす月の影」（春濃生）

▲警務課の横町の○木は女房も悪い女じやないのに平野町の玉○亭の久吉にのろけて夜も晝もかよひつめて居るが久吉には外に男がありますよ御苦勞千萬です（壁耳子）

▲僕が一昨日軍政署の南側を通行して居たら素的な別嬪さんが車上豊かに巻烟草を振り廻しこれ見よがしに御出陣せられて居たが僕は木曾の冠者の妾巴御前の英姿を思出して實に勇しく思つた（女丈夫崇拜者）▲僕が或る雜誌を讀むでる中に某人の所感で商買に成功せんとするには絶体に癇癪を抑へよ……とあるを讀むで成程と感じた矢先頭腦の上へ蠅が二ツ三ツエッ糞ッ（春濃 ▲日本の女は毛唐に能く惚るがあれはエイビーを咬つたお轉さんに尤も多いようですね（中盛街犬）▲營口へ辨天さんか淺草の觀音さんの出店を出してくだされ（桃太郎）▲妾は營口に來て卜夜無趣味な生活と情ない人情とに泣いて居ますが、妾に同情をよせて大なる慰藉者となつて下さるお方はありますまいか〜（有情の女）▲局長さん電話のよくわからんのにはへいこうです早くどうかして頂戴（凹凸女夫）▲表面眞面目を裝ひ裏面に於て極惡非道をなせる三百的ゴロ紳士が日淸人を胡魔化せし詐僞の行爲貴社は御存知ありませんか萬一御存知なくは材料を供給して上げましようか（伺ひ鯛生）

廣告

緊急廣告

近日我第二艦隊入港の筈に付下士以下の諸君へ物品寄贈致度候間有志の諸君は應分の金員御寄附相成度希望致候追て左の通御承知相成度候
一、締切は本月十一日迄
一、寄附金は牛莊日本人會山田へ御屆相成度候
一、芳名及ひ受領證は滿洲日報へ掲載すること
明治三十九年八月　發起人
與倉喜平　瀨川淺之進　黑澤禮吉　中村錠太郎　遠藤藤次郎　神野良　平岡佳吉　佐藤寬次郎

寄附金者芳名
一、十五圓　營口佛敎婦人會
昨日五圓とあるは十五圓の誤植に付再掲す
一、五十圓　遼河輸送組合
一、二十圓　黑澤禮吉
一、一圓　松江木局
一、三十圓　平岡佳吉
一、十圓　關東公司
一、十圓　安藤誠一
一、十圓　小泉市太郎
一、五圓　大原計三郎
一、五圓　中村虎嘯
累計三百五十六圓

法學士 辯護士　値賀連
大連大山通二丁目三十一番地
目下當地左の出張所に居住す
營口永世街第三號ノ二（金城館ノ南隣）

旅館 料理　技桑館　奉天大西關
今度室内に大修築を加へ名妓數名を雇入併せて球戯場を增設仕候間諸方御客樣倍舊の御來遊を祈上候

風景佳絶、旅館、料理、遊技完備
滿洲第一　湯崗溫泉
效能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀瘡
營口○─大石橋○─海城○─湯崗溫泉全停車場─○遼陽─○奉天

電話至急讓受けたし
御不用の御方は當局へ御知らせを乞ふ
元神廟街　飯塚工程局

今般其筋の許可を得左の處に於て精良牛乳販賣仕候間多少に拘らず御試用の程奉願候
元神廟街二四九（電話三番）
精乳軒牛乳販賣所

社告

一週年大福引會豫告

今回本社創刊第一週年記念として聊か讀者諸君平素の御眷愛に酬いんか爲に大福引會を催し多數の讀者に一人も漏れなく景品を贈呈するの方法を採ると致しましたその景品中の重なるものは

一等　金時計（大賞堂保險附）　一個
二等　貴婦人用帶地（白木屋呉服店）　一筋
三等　純金指環（大西白牡丹製）　一個
四等　上等洋傘　一本
五等　縮緬兵兒帶　一筋
六等　縞毛布　壹枚
七等　フランネル單衣地　壹枚
八等　勸業貯蓄債券　壹枚
九等　巻烟草入　壹個
十等　言海　壹部
（十一等以下は漸次發表します）

等であります、月極讀者は勿論今後滿一ヶ月以上本紙愛讀の方には周く福引券を配布します、景品陳列及び抽籤方法等の巨細も亦追ふと我紙上に掲げます

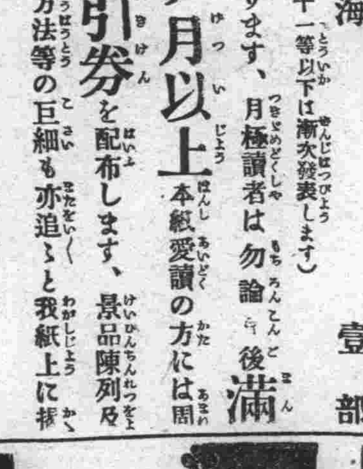
有志家寄贈副景品
▲白米　一俵　第三樓
▲八丁味噌（大樽）一丁　金城館
▲手拭　十反　日本館
▲エジプト紙巻莨五箱　第一樓
▲縮緬上等兵兒帶一筋　奉天金城館
▲臺灣製夏帽子十個　醉花園
▲玉突券五十枚　第二軒
▲平野水四ダース二箱　東邦亭
▲エジプト紙巻莨二箱　三日月樓
▲澤庵積一樽　公樂園
▲麻製ハンカチーフ五ダース　東雲館
▲麻製ハンカチーフ五ダース　大和館
▲敷島紙巻莨二十入三箱　萬直し
▲上等西洋料理券三枚　牛莊ホテル
▲リンネル上等洋服一着　富永洋服店
▲上等セル地婦人單物一枚　祇園閣
▲置ランプ三個　三友洋行
▲呉服券三枚「五圓、三圓、二圓」　玉井洋行

滿洲日報社

●煉瓦販賣
上リ竈ニテ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦ガ御望ナレバ當洋行ニテ御需メクダサイ
二本町　高坂洋行　煉瓦製造部（電話九十番）

硝子、陶器、藥種、雜貨、質商、魚菜
ラムネ、檸柑水製造販賣並に淸酒
金水、龍印特約一手販賣其外洋酒類
特にラムネ及檸柑水は夏季の飲料用として原料を精撰吟味す
遼陽西門外街　林洋行

盛海洋行

靴製並に修理

右安價を以て確實御注文の程奉願上候也 迅速に調製可仕候
營口元神廟街郵便局官舍向ひ
桑田靴店

料理店　滿月　平野町（電一六二）
滿月支店　平野町入口　店主 青木勝惠

近江病院　水世街二本町
院長　近江周友
副院長　增田八郎
内外科梅毒婦人科眼科胃腸病專門
午前宅診　午後往診
入院治療を諾す
但輕便入院法あり來談を乞ふ

諸毒下し　毒掃丸　一名一ケ月丸

梅毒、そう毒、ーつ毒、胎毒、よこね、かんそう、其他諸毒又ハのぼせ、頭瘡、頭、手足に腫物生し困難する人一日も早くためし見よ

軽症ハ二三週間重きも一ケ月間ふて全治すべし故に一ケ月丸の名有り

大日本帝國東京市山崎帝國堂大藥房製劑　毒掃丸

本劑實爲梅毒專治之靈葯故瘡毒、楊梅瘡、胎毒濕毒、淋毒、天梅毒、便毒、疳瘡、及筋骨痛梅毒性咽喉爛及口中紅爛先天及後感梅毒性眼疾頭痛耳鳴等症服本劑其効神速的確恰如操左劵凡用本劑者病毒輕者則二禮拜乃至四禮拜全癒重者則百日乃至百五十日除根爲無一悞若無病之人服常本劑能快通大便排泄百毒庶足以徵其効驗也

●定價四日份　三角
●一禮拜份　五角

營口永世街（司法部前）
總經理批發　回天堂三木大藥房（電話百九十番）

廣告

高等麥酒スペシヤルライト

スペシヤルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に釀造せるものにして原料精撰風味高尚夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり

本月一日より麥酒取引は一切現金にて御願申上候

六月

釀造元　大日本麥酒株式會社
滿洲一手販賣店　營口元神廟街　關東公司雜貨部（電話五番）
分店　奉天四平街電話十三號　關東洋行

ペンキ塗請負　京阪組
營口豐濟門街三十一號
臨時出張所　鐵嶺正金工場内　新民屯泰東公司内

醇良日本酒

大販賣
サツポロビール
和洋雜貨　洋酒化粧品　千賀洋行　奉天鐘樓南大路西
酒類　食料品　孔雀印平野水
千賀洋行支店　奉天小西關大街路北

石材　石灰　大販賣
英治洋行（營口西北街）（電話三二）

土木建築並ニ測量設計請負
志岐組　營口青堆子穀定門外

營口
雜貨　洋酒　煙草　卸シ　小賣
大連　南洋　湖北　彩票　販賣
西北街　裕和盛
鑵詰　紙化　粧品　特ニ　安賣
東清　鐵道　遼河　貨物　運送
電話八一

御料理旅館　三河樓支店

弊館は奉天城外十間房第一風景美なる地にありて最も納涼に適す今般業務擴張と同時に宏壯なる日本家風の二楷屋新築し樓上等も暑に應する設備致置候間續々御光來被成下度伏して奉願上候　以上
樓主　川上總吉

祝開業一週年

弊亭開業一週年の祝意を表し豫て福引御料理差上申度候處不斗も各位の御好に相叶ひ非常の御愛顧を蒙り千萬難有御禮申上候扨て華客樣の御勸めに從ひ猶本月十五日まで延致し更に御顏の藝妓をも相加へ殊に時節柄料理一層注意仕且つ板場は生粹の江戸ツ子庖丁の切味御賞翫下され度續々御來の程偏に願上候

福引會席御料理　壹圓

左の十二月に分ち御引出の籤に當りたる月に依て差上可申候

正月（ビール二本　會席五品　藝妓一時間）
二月（會席五品　御酒一本）
三月（會席五品　ビール一本）
四月（會席五品　御酒二本　敷嶋たばて一）
五月（會席五品　ビール一本）
六月（ビール二本　會席五品　藝妓一時間）
七月（會席五品　御酒二本　敷島たばて一）
八月（會席五品　ビール一本）
九月（會席五品　御酒一本）
十月（會席五品　ビール一本）
十一月（會席五品　御酒二本　敷島たばて一）
十二月（會席五品　ビール二本　藝妓一時間）

月日
祝開業一週年　營口豐濟門街　柳亭

開業御披露廣告
遼陽城外西門外街西へ入
和洋御料理　遠山館

今回皆樣方の御勸により遲れ勝に開業仕候へ共料理と勉強と美形と待遇とは決して遲れぬ樣にと精々注意可致く殊に一棟は西洋料理室の專用に充てコツクも本國新來の腕利を雇入れ候へば美味は受合且輕便を旨とし一皿にても貴需に應ずべく候條陸續御來館の上御試し被下度奉希候　以上　敬白

御料理旅館　扶桑館
奉天大西關大什字街
第五分局千〇六十八号
館主　堀田ハル
電話　号

改名業務擴張廣告
御料理旅館　東來館（元吐月改め）
遼陽陳家街破水門より東へ入る右側

今回元吐月を東來館と改稱致候に就ては萬端を刷新すると共に業務を擴張し精々勉强可仕殊に御料理は輕便を主とし時節柄一層吟味調進可仕候間陸續御來館の程奉希候

遼陽兵站業務取扱所御指定旅館

遼塔ホテル　遼陽城外喇嘛塔下
遼東館　全城内東街
滿洲ホテル　全城内西門
浩氣館　全城外喇嘛塔側
藝陽亭　全城外西門外通
遼陽館　全上
東洋館　全城内東街
滿洲館　全城内北街
梅廼家　全城外西門外通

○板材木　○蚊張　○金物類　○金庫　○疊建具　○花莚　○椅子テーブル　○ペンキ　○洋燈類　○文具　○鰹節雜魚　○紙類　○醋醤油　○鑵詰　○其他雜貨色々
新荷着大安賣

營口西北街　石光洋行
遼陽西門外　石光洋行支店

盛進商行

東京萬長別製
男物　女物　風流下駄
各種新着仕候間不拘多少御用仰付被下度奉願上候

新荷着
裝飾用簾　洋食用品　肉碎器　秤卅六貫以下種々　手提金庫　コツピー用附屬品
窓掛及附屬品　夏帽子各種　戸田式瀘水器　宇治新茶　ワイシヤツ及カラー　學校用文房具各種　各種復寫簿
關東公司雜貨部（電話五號）

支那叢書第壹編　支那政府組織　全（定價一圓）

清國の情況を知るは現下の急務なり清國の情況を知らんと欲せば先づ組織の異相を知らざる可らず老帝國政府の異相を知らんと欲せば乞ふ斯書を一讀せよ

軍人諸君には特に一割引とす部數に限りあり至急御申込あれ　營口重盛街
販賣所　滿洲日報社

病室增築輕便入院

是迄病室少く多數の貴需に背くを遺憾とし今回更に増築し輕便と懇切を主とし一層院務を擴張し汎く專門の功果を收とす
○全身魔醉○　○局處魔醉○
○嶄新器械○　無痛手術○
○梅毒○婦人科○專門　外科胃腸病
日本醫院

加藤洋行
東海關後街
東洋雜貨　質賣價實
本行　天津
分行　營口　北京　大阪

牛莊松岡病院
内科　外科　眼科婦人科診療
入院治療を諾す
殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血清療法を施す
元神廟ニ第百三十四號
全科醫士　松岡玄雄（電話一五一番）

物の市價

豆粕　十個　一二、五
豆油　八、八
麥粉　二、一　兩
太米　一二、〇四　錢

元馬　仝　四、〇五
三兎　仝　四、〇一
馬狗　仝　四、〇〇
艶馬　仝　四、〇〇五
眞龍相連　仝　四、〇八

釜魚　一捆　九八、〇五
立馬　仝　九八、〇八
鐵毛　仝　九一、〇〇
紅劉海　仝　八七、〇〇
老船　仝　七九、〇一

綿花相場　兩錢
九龍　百斤　一九、〇七
西京　仝　一八、〇五

爲換相場（正金銀行）
內地向（正隆銀行）
上海向　一〇二、
天津向　七一兩〇五
五日の一兩は　一〇三、六二五（銀百弗）
軍票一圓……金一圓一錢八厘（軍票百圓）

價廉採買客人不知請此廣告
東青堆子橋南
淡谷木局

に二彩は營口に當籤したりといへば何處の幸運見なるや
頭彩　八千四百五十一號（大連）
二彩　一万〇三百二十六號（營口）
三彩　三千〇五十六號（大連）

北の風

地方天氣豫報

昨日の氣温
最高温度八十一度八
最低温度六十三度一
昨年より　低七度二　高八度二

宮門抄

十六日　戶部　宗人府　正白旗值日　吏部引見七十名　正紅滿九名　張仁黼謝授缺　恩　直隸按察使玉清穆謝　恩　召見軍機　玉清穆

上諭恭錄

十六日奉

旨廕生溥謙著以武職用溥玶著以七品筆帖式用毓鋆著以七品筆帖式用載取舉人鄭鳳鏘著以直隸州州同用李鑑昌著以鹽庫各大使用鄭繼烈著以直隸州州同用李慶翱著以直隸州州同用馬正翰著以鹽庫各大使用鄭伯溶著以直隸州州同用盧會瀛著以直隸州州同用劉式和著以鹽庫各大使用揀選舉人趙鼎煌著以直隸州州同用蕭嘉禾著以鹽庫各大使用王樹棨著以鹽庫各大使用廖鈞着以直隸州州同用陳林淞着以鹽庫各大使川分發湖北補用同知錫庚安徽試用直隸州知州邵振丙江蘇補用通判周慶諭直隸試用通判范鴻恩江蘇試用通判李約禮山東試用通判沈兆禕河南試用通判鄧恩甲豫河試用通判吳孜甘肅試用通判趙𡒄藻江西試用通判黃志義湖南試用通判李典三馬繼援徐純敏貴州試用通判吳昌濬江蘇試川直隸州州同余祖昭山東試用直隸州州同劉式游王芝田王恩遇湖南試用直隸州州同蔣芳江蘇補用知縣蔭淸山東補用知縣李務滋明安山西補用知縣郭學謙融和陝西補用知縣畢世垣蔭𤅽甘爾補用知縣成瑞浙江補用知縣孫鳳彬武天駿湖南補用知縣趙延泰廣東補用知縣呂調鏞廣西補用知縣申福直隸試用知縣伍鈞祝景燧江蘇試用知縣胡春澤鍾靈吳本沪未維藩趙毓鋆保送分發指指四川補用直隸州知州張又栻俱著照例發往

惠陵禮部員外郎著恩謙補受翰林院興薄着西林補授　地壇五品官員缺着崇祿補授欽此

上諭綽哈佈錫良奏官軍攻克裏塘屬桑坡逆番請將出力員弁擇尤奬勵一摺裏塘所屬桑坡地方逆番普中乍娃等肆亂稔惡日久稽誅去年討罪巴塘仍復甘心助亂屢有擄村刼弁等事實屬兇頑已極經道員趙爾豐等相機進勦撫穴殄渠辦理尙爲得法在事各員弁跋涉窮荒苦戰數月不無微勞足錄允宜特沛恩施分省試用縣丞吳俠着免補縣丞以知縣分省補用並賞加五品銜賞帶花翎府經歷傳嵩秋張剛均着以府經歷歸部選用並賞給五品頂戴縣丞銜華丞禧楊世衡均着以縣丞歸部選用並賞給五品頂戴已革花翎四品頂戴貴州貴定縣王會同着開復原官銜翎仍歸原省補用並免繳捐復銀兩千總許志霖着免補守備以都司儘先補用並賞戴花翎把總張榮魁着免補千總以守備儘先補用並賞戴花翎守備銜謝安邦着以守備儘先補用並賞戴花翎外委丁恩榮五品軍功程鳳翔孫寅璋和汝信羅銘忠羅銘宣均着免補把總以千總儘先補用並賞戴藍翎四川建昌道趙爾豐督兵轉戰尙合機宜雖據聲稱不敢仰邀議敘究未便沒其成勞着賞給武勇巴圖魯名號另片奏已革廣西補用道錢錫寶隨同趙爾豐分道進討勤勞迭著洵異常出力懇請逾格施恩等語錢錫寶着開復原官翎枝餘着照所議辦理所有善後事宜仍着該將軍等督飭各員妥爲籌辦隨時奏聞欽此

論說

譯益聞西報贅之以言

（朱通孺稿）

前英使薩道義君回國。道經上海。倫敦中央新聞之駐滬訪員謁焉。論中國近狀。薩使曰。中國者。中國人之中國也。」斯語也。其由來久矣。近年幾普及全國。數年以前。余已忠告中國。急採泰西各文明國之法制。而仿行之。至於今日。始稍稍思變。然而吾等苟可以贊助而欲成之者。當無不盡力。此亦義不容辭者也。雖然中國之行新政。其果欲外人之贊助乎。是亦一問題也。英日之聯盟。謀所以保全亞東大局。此唯一之王義也。既欲亞東大局。永保和平。則必須贊助中國舉行新政。此又別無疑義者也。吾預料數年後。中國新政之結果。內憂外患。悉從此泯。論世之士。必有相對咋舌。而驚其收效之速者。然吾又恐其所需贊助者。或爲無責任之人。或偏倚日本。事有必至。勢有固然。此即排外之見端。可於(中國人之中國。)一語微露之。然以吾所見。則中國人排外之思潮。乃一絕無規則之動機也。今者上流社會。或泯此見。未可知耳。訪員聞而記之。本報見而譯之。不禁喟然嘆曰。嗟乎。吾中國之所以。不致於亡者。賴有此排外思想也。吾言甫出。知有譽者隨之。然亦知排外思想者。乃生人第一之天性乎。競爭之起由羣生也。無排外主義。一羣何以自立。不排外則畏外。由畏外而媚外。由媚外而屈服於外。人心死矣。中國亡矣。中國者。中國人之中國。此正吾國之國粹。聞之而有無限低徊者也。不啻崇拜者也。英使以爲即排外之見端。外人之言。固如是矣。吾國人毋誤會也。俄日之戰。日排斯拉夫民族也。而謂保東亞和平。可知和平亦排外之結果。和者和也。能戰能守而後能和。戰與守。非排外乎。不能戰不能守。即無排外之本領。徒主和平畏服從主義耳。亡國之道也。英使之言謂上流社會。或泯此意見。是語吾聞而懼焉。所謂上流者。何等級之人乎。其有見於交涉之案。屢屢退讓。而故爲是言乎。實由吾國無力排外。而不肖之上流社會。由畏外而媚外。間或有之。至謂無規則之舉動。是妨害治安之亂賊也。何足與言排外。大而一國爭權利。小而箇人爭自由。皆排外也。非僅對於異國而言。我即內也。人即外也。斯可謂之眞排外。外人之助我者。吾甚感之。而親之非媚之也。此之謂排外精神。中國人之中國一語。排外之精神也。中國之魂也。吾登希馬拉耶山巓東嚮而招之。猶恐其不歸。英使反以爲中國咎病乎。異哉。

中外要聞

●端戴兩欽使抵京消息　考察政治端戴兩大臣日前由滬附輪北上於十六日到塘沽換乘小輪於十七日早來津擬於十八日早晋京有津郡官紳均塘沽迎接　袁宮保擬於十七日設筵署內恭請兩大臣及隨員公宴聞　朝廷擬俟端戴兩大臣回京陛見之後會同澤尙兩大臣及各堂司隨員集議政治以便改革故端戴兩大臣回京之後我國政界頗足注意矣

●鬍匪猖獗四則　據錦州函云近有鬍匪於該埠附近時常出沒肆行刼掠無所不爲人心惴惴均不安堵雖前經派兵勦辦然隨剿隨起未就肅淸云

東口哲里木盟南郭羅斯公旗寬城地面匪徒出沒漢蒙雜居開荒之處有地方官管轄而蒙地漫無治理上下安逸故蒙民受害不堪言狀

河東關汎居住之劉老帶貨前往哈爾賓變賣得利回津於日前行至奉省昌圖府附近被鬍匪搶去洋八百元又將劉老用槍擊斃

十一日榆關外沙後所居住之富戶馬二家主人是日午下四點鐘忽被鬍匪多人將二家主人綁去名曰請財神價四十萬金贖回因二家主出廿萬金衆匪不允隨於是夜將馬二主人斬首隨有家屬赴該處駐防陸軍報案已派兵二百餘名前往剿拿至交戰時又被鬍匪擊斃兵勇二名衆匪隨均行逃走

●籌辦東三省電線　袁宮保前派北京電報局總辦黃開文觀察前赴東三省考查安設電線之事聞黃觀察日前考察事畢業經回京復赴津謁袁宮保商辦安設吉林黑龍江之電線聞袁宮保已改派黃觀察爲東三省電報局總辦以便籌畫安設電線一切事宜

●請將美商開礦合同作廢　聞外部照會美使云爲錦州屬義州北高力井子煤礦係美商劉承恩租賃開挖並未咨部立案與商部奏定礦章不符應將該美商租賃採礦契約作廢等語

●駐義黃使奏摺　出使義國欽差大臣黃誥遞到奏摺一件聞係奏陳自到任後情形及照料華商在秘拉訥賽會之事該摺並未提及秘拉訥被火災之事想該摺發時尙無此災耗也

●敖罕之喇嘛　前報載敖漢三喇嘛賣地在逃潛往達爾漢旗强掠某廟快馬十餘匹來京賄當道以贖已譴聞尙不敷用又赴蒙地肆行刼掠以取資財故蒙人畏之如虎

●李使仍列銜名　駐比使李盛鐸氏此次雖未返京覆命聞於端戴兩大臣覆命摺中仍會列名銜報告其考查各國政治之情形

●政館之調員襄助　聞考查政治館有咨取張鶴齡嚴復兩氏來京襄助之說

●電催解交賠欵　聞戶部堂憲日前議及各省應解各國賠款尙有未經報解者應速電飭各該省大吏迅即籌辦限於六月內解交上海道收納以應要需

●英對中國稅司事　英國外相格禮君對於議院質問中國海關事宜覆答云中國政府聲明海關施設一切事務仍不改章照舊辦理現其新定章程待總稅司赫德猶與其所聲明者相符並不侵犯權限然查此事英政府正在考查是否的確又云總稅司赫德告退一節政府尙未深信云

●英議教育法案　英國上議院將敎育法案於第二次會議定

●俄京工匠罷業　俄京聖彼得堡府工匠滋生風潮所有工匠一萬五千名現已罷業

●俄鐵路員之罷業　俄國鐵路員等昨夜於聖彼得堡今日於莫斯科均決意罷業

●俄又有總督被轟　俄國薩馬羅總督猝被炸藥戕斃

●俄斯克兩埠亂耗　俄國斯威堡及克倫斯達杜埠滋擾一節查明緝捕之匪徒中現有工匠黨議員云

●議院展期開議　英國議院展期十月二十三日開議

●俄京罷業人數　俄京聖彼得堡府工匠罷業者約及五萬五千人之譜

●俄兵槍斃上憲　俄國杜蘭斯高喀西亞州兵員滋事用槍擊其上憲戕斃六人傷四人

●直督慰兒玉大將　直督袁宮保接到日本陸軍參謀總長兒玉子爵逝世訃音傷感不已乃致電子爵故邸以誌弔慰原電如下　兒玉子爵邸諸公子鑒竃子爵仙逝聞耗深爲痛悼子爵勳名蓋世生榮歿哀尙祈少抑悲思善述父志夙蒙友誼專電奉慰以表微誠

●駐京俄使更替消息　傳聞駐京俄使不久將有更動新任駐使爲倭高格君已於陽歷七月由俄京動身來華　按倭高格君於中國情形最稱熟悉庚子以來經前直隸提督聶功亭軍門聘爲馬隊學堂敎習其時已任三等提督回國不久適有拳匪之亂聯軍來京倭充俄軍總統和議成改駐津提督任滿回國升充御前大臣現復升任全權駐華欽使

●電查奧銀價値　商部電駐奧楊星使電爲中國茶商擬運茶赴奧銷售但刻下奧銀每一古倫合華銀若干難以遙揣請速電覆轉飭該商會查照以保商務

雜報

●惡媼控壻　昨聞埠民相語本埠西木門內居民有喬姓者年逾不惑持身勤儉積有餘資距於前數年間先妻病故尋聘彭媼之女娶爲繼室一切聘儀釵環綢帛槪從豐美過門以來女常憎壻齒老時不相能喬以愛婦故復製赤金鐙環錦羅衣衫以媚之奈婦心仍不悅去歲生育一女而夫婦之情終不倡隨凡一切家計置不在念常抱嬰女不扃庭戶便往戚好家中流連喬蓄每相勸誡婦若罔聞前日喬由街市旋歸入兒屋戶豁敞竃榻几案物具遍爲狼籍喬乃氣憤尋至婦處責而不服愈忤喬怒前交婦手洋八百元淸錢數百串亦均無之且有私通外人之舉喬乃手掣短梃擊傷婦臂其母知之先至婿家打鬧並其子爲某區巡捕者亦往尋毆喬畏而遁該媼遂携女奔赴第七派遣所鳴狀當被憲兵研訊洞悉毋女均屬不良乃叱媼曰我日本國法律婦若不良夫雖擊其身斃亦無論焉速去勿留此該毋女沓喪而歸自覺氣餒然旁觀者咸爲稱快云

●衆怒難犯　昨聞友人云距河北三叉河北十餘里之地方有穆家套村穆姓者富甲一鄉家中田地千餘頃其人素行不端滋生事故漁肉鄉鄰暗中勾串差役私行扣地倘有餘地彼即可以從中取利當被鄉民察知其事皆爲不平遠近農民聚集二三百名至穆家尋鬧穆姓速將大門緊閉不肯放入衆人情急毀墻而入穆姓當令炮手開鎗轟擊鎗斃鄉民一人餘人畏死逃竄穆姓自知已誤携其老幼乘車遠逃被擊逃回之民歸述具狀衆更不平復又聚集多人仍往尋鬧衆人到穆家之時則已舉家逃去無處追尋矣有看家管事人出首分辦愈激衆人之怒因之拳棍亂擊立將該管事人擊死衆民始爲散去後事若何容再續訪

●會滬近行　昨日妥出會上海銀兩加色開行之初兩不加水小價至倒加一兩末市仍復直行交兌毫不加水共妥四十餘萬之譜云

●貨輪進口　新到上海直放輪船一隻船名新昌共裝來洋貨等物一千餘件大約明日必將起卸矣

●跋涉尋夫　昨日午間在福建公所門首有一山東貧婦帶領子女三人因無川貲擬將幼子賣出以作路費旋有經過客商見之問其賣兒之情婦云夫君在双城堡營生數年不返家無財產實難度日又無富有親朋可以資助無奈因自携子女欲至双城堡尋夫惟至此途費已空祇得賣兒前去云云衆人聞此情況均動惻隱之念不忍使其母子分離當有助洋二三角者並有三五角者共湊洋數元之譜該婦自謂路費已足遂携其子女叩謝而去

●長眠不醒　本埠東街太順利鋪號某姓掌於前夜晚間就寢之時身尙無恙次日天明該櫃夥等同起料理鋪面多時某猶未起衆往看視即疑有患病之情及啓門入視而某掌櫃業已僵臥如冰毫無氣息蓋不知何時已經寂然物化云

營口旅館料理店案内
いろは順

旅館 料理　元神廟街九十六號　營口ホテル　第一樓

料理　永世街百八十三號　入船亭　谷初次郎

料理　營口永世街　一力　店主 堀万助

旅館　河岸通り　日營ホテル　店主 井上源吉

料理　永世街八十六號　東京館　店主 村上京四郎

旅館　營口新市場前（電話一七一番 四番）　東京樓　店主 熊田兼次郎

旅館　西北街百七十三號正金銀行西三丁程　東茂旅館

料理　元神廟街百三十三號　千鳥　店主 吉住善藏

料理　永世街百六十四號　沖の嶋　店主 中川彌三郎

料理 並に氷いろ〳〵　營口元神廟街　翁亭　店主 長谷川金次郎

料理　永世街八十六號　吉野亭　店主 坪田正好

旅館　西北街（電話一四五番）　高砂ホテル　店主 引山小みつ

料理　營口元神廟街　樂々亭　店主 武部貞

旅館　永世街三十四號（電話十一番）　大和館　店主 前田九一郎

料理　豐濟門街第百〇四番　萬梅　店主 島田彌助

料理　永世街字二本町　まんなをし　店主 和田常松

和洋料理　南永世街　公樂園

料理　營口平野町　喜樂亭

料理　平野町　都樓　店主 阪本ちか

旅館　永世街七號　東雲旅館　店主 谷口今朝太郎

旅館　營口永世街一六號　品川館

和洋料理　營口元神廟街一一三四　松月亭　店和、末松信太郎

料理 旅館　醉花園　澁谷旅館　永世街百二十七　店主 澁田留吉

奉天旅館料理屋案内

商人御定宿　奉天小西關大街北側　瑞豐館　館主 河野嘉吉（電話□）

會席御料理 高等御旅館　溫泉付大勉強キレーデチイシヒ　奉天小西關大街南側　天神樓（電話□）

旅館料理店　奉天小西關大路北　日清館　館主 入江熊男（電話□）

奉天兵站部指定旅館　奉天小西門外大街路北　茂林館（電話二十五番）

御旅館　瀋陽館

御定宿　奉天小西關第五分局八一〇　第一東京館　館主 松田平四郎
今回弊館組織に大改良を加へ清潔閑靜を主として旅館を業に罷ら御客樣の御便利を計り內湯御調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館 御料理　奉天城內灰市街東華門宮殿東側　梅松館　館主 押尾富次郎（電話號）
今回弊館座敷增築の上清潔廉價を旨とし川魚鰌井鯰蒲燒）等をも新調且つ仕出等致し御中喰には至極御便利に御取り計ひ可仕候多少に不係御用命の程偏に奉願候

和洋高等御料理　遼陽城內東街一八九號　遼東館　電話　號

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般
（營口綏定門街 ブツシ商會東）　喜川鐵工所

和洋會席　御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉強仕候
營口永世街二本町　日本館（電話百三十）
各位樣

料理店旅館擴張廣告

奉天小西關新來當街々　御料理 本店　金城館（電話十九）
奉天小西門街大什字街　御旅館　金城ホテル（電話一〇）

四方各位益々御清榮被爲入奉大賀候陳者弊店儀義に滿洲樞要の都府に當る當奉天小西門外什字街に料理店旅館開業仕候大方紳士紳商諸彥の御引立を蒙り日に增し盛大を來たし從つて家屋手狹まを感じ候に付今般一層業務を擴張し更に本店を當府小西關新來衖術に設け以て專門の料理店となし日本式ナ宴會（百人迄の設備有之候並）に歌舞演藝に適する樣大廣間落成致し候に付き此際本支店共奮つて一大改良を施こし親切叮嚀に衛生と清潔とを主とし精々勉強廉價に相務め可申候間尚一層之御愛顧御引立の程伏而奉冀上候　敬白
追而料理店旅館の位置は奉天小西門より約二丁西方に當り市街輕便鐵道を中心として旅館は東方へ約一丁餘料理店は北方へ約三丁有之候間御來駕之節は路上の目標に御注目被成下度特に願上候

營口永世街　御料理 支店　金城館（電話八三）
營口永世街　御旅館 支店　金城ホテル
大連市吉野町　御料理 支店　金城館
大連市吉野町　御旅館 支店　金城館

陽城內西街　御料理 雜貨　盛進館　井川商會　店主 北ツネ

和洋御旅館　御料理　奉天軍政署指定旅館　奉天館　奉天城內鐘樓南大街（電話十四番）

日清倶樂部　奉天城內大南門裡大街（電話十五番）
麵麭製造　西洋洗濯　靴製造　日本大工　理髮　裁縫

氷御小賣所

土木建築請負　遼陽城內西街
煉瓦製造販賣　有馬組遼陽出張所
雜貨御小賣　主任 海南右門

滿韓境上唯一樂園　五龍背溫泉

安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半
溫泉塲ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁
眺望絕佳今ヤ新綠滿タルノ下淸流掬スベキノ仙境タリ
當溫泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ
効能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂麻質斯、黴毒、癩病等ニ特効アリ

西洋料理
弊ホテル義は歐洲風の旅館にして玉臺ピヤノ及び應接室の設備有之御宴會集會多人數の御立食仕出しにも應じ尚御來客の朝食午晚に區別仕り候外一二品の御好みにも應し篤實に調進仕候間陸續御來臨の程奉希上候
進物用に適す料理切手發賣仕り五枚以上御買求被下候は丶割引仕候
牛莊ホテル（遼河々岸）

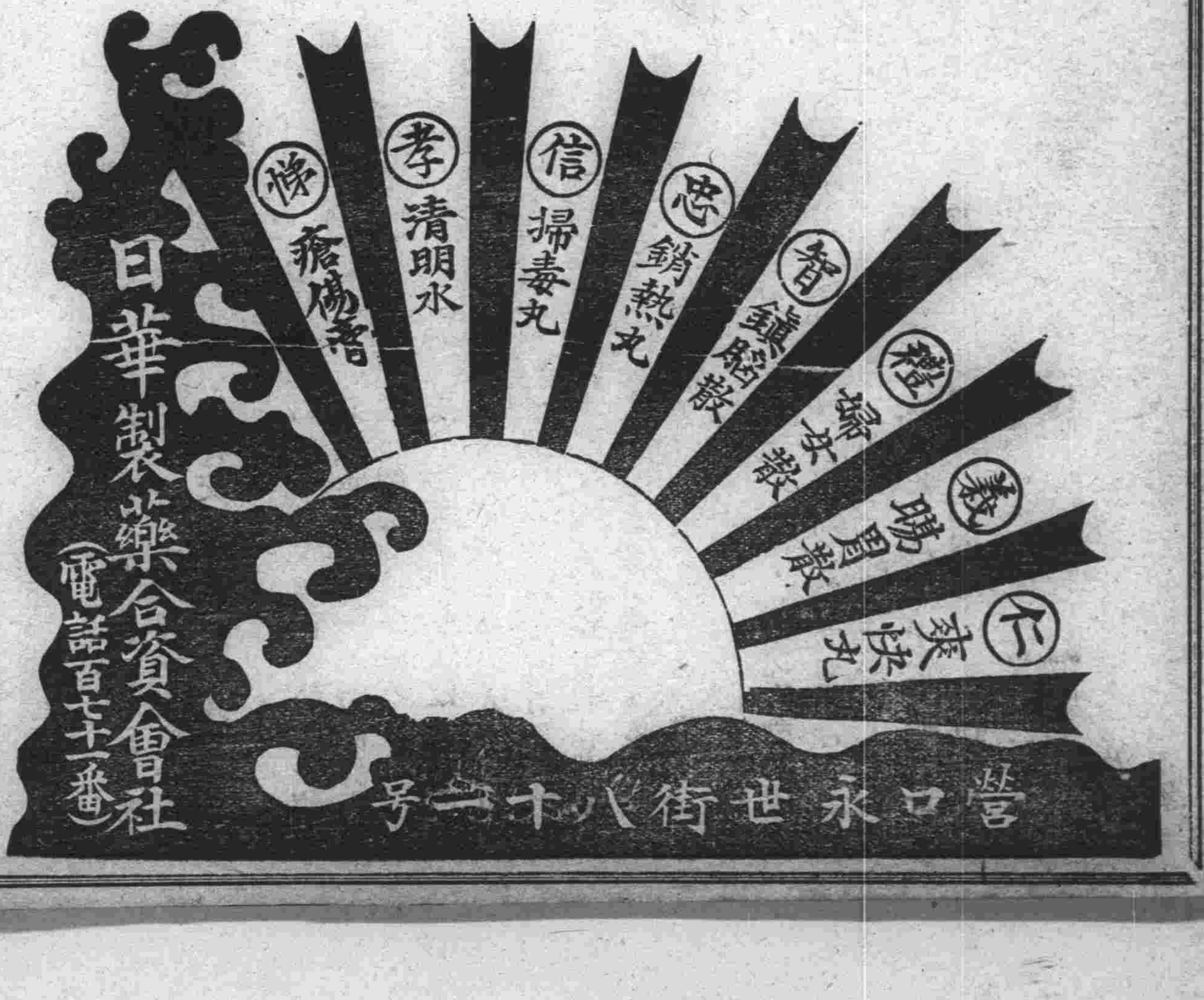
遼陽州官設醫院告條
一凡請診治到院掛號須在上午自八點鐘起至十一點鐘止藥資例取銀隨意
一若有愿獨免藥資者須在下午到院掛號自一點鐘起至三點鐘止
一特邀醫官於其家者另繳規費一元以上但在下午三點鐘以後
一欲求診斷證明諸單及處方箋另付規費
一毎逢慶節及禮拜日一概休辦

自造　煉瓦　瓦　並に各種石材販賣
營口靑堆子　加州組（電話八十六番）

白米、醤油、味噌、木炭、酢、淺草海苔、罐詰、乾物、日用雜貨、漬物類、清酒澤龜特約、東京タクアン　其外和洋酒類
永世街第廿八號　大原洋行（無比廉價販賣す）

軍隊用雜貨　日用品雜貨　吳服太物類　化粧品類　陶器類　食料品類　御小賣
營口永世街七十號（第二市塲東）　石原商店
其外新荷着精々安價販賣

救萬病　濟生八方　神効無比



上海　中井洋行　專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠訂有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙料莊票包棉紗等草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也　中井洋行

金井洋行　盛進商行
恵比壽ビール　YEBISU TRADE MARK　登録商標　DAI NIPPON BREWERY CO. LTD. TOKYO JAPAN　大日本麥酒株式會社

一杉丸太長一丈より五間迄末口一寸以上八寸迄各種
一杉樅栂松板類各種
一大小押角挽角小割各種
右廉價販賣
營口永世街　喜久洋行（電話一五二）

軍隊用雜貨　日用品雜貨　食料品種々　舶來品類
其外新荷着舶來品精々大勉强販賣
遼陽西門外筋　北原洋行

土木建築用諸木料
板硝子類
マルソイド便利瓦
九州セメント
オールドスコッチウヰスキー
廉價販賣
營口靑堆子綏定門外　志岐組　商業部